2—427

大阪號

島田三郎・安部磯雄監輯

廓清

第三巻第拾壹號

主張　社會之改良・風紀之廓清・男女之貞潔・家庭之和樂

目次

▲大阪號刊行の辭……記者

▲一夫一婦は天地の公道……伯爵 大隈重信

▲制慾論……救世軍大佐 山室軍平

▲廢娼の第一歩……鐵道青年會主事 益富政助

▲廢娼の實行力……廣岡淺子

▲我等の姉妹を救へ……婦人矯風會副會頭 本多貞子

▲神の導きと我等の希願……博愛社理事 林歌子

▲大阪特別大運動の記……記者

▲大阪の社會事業……記者

△口繪　大阪支部大演説會場、講演の四婦人

東京　廓清會本部發行

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

藝妓問題大演說會

現代に於ける最も華々しき私娼の一表現たる「藝妓」、害毒の劇甚なる戰慄するに堪へたる「藝妓」なるものに對して、本會は去九月宣戰の火蓋を切り、中毒昏睡せる社會の耳目を聳動せしめぬ。而して今や「藝妓問題」なる新熟語は普く海內に波及して談論の好題目たらむとす。吾人は精神的に及ぼしたる印象の意外に深刻なるものあるを感謝せずんばあらず。されば本會は寧ろ此際「三面記事問題」の演說會を延期し、今一發巨彈を放つて國民の迷夢を一掃し、主張の徹底を期せむとす。本會々員たる者は奮つて知友を誘引來會せられむ事を望む。

◉時日　十二月十三日(土)午後五時半

◉場所　神田區美土代町　青年會館

▲入場料五錢會員無料但本誌三十八頁の入場券を必ず持參の事

□開會の辭……理事　益富政助氏

□蓄妾課稅藝妓增稅……新佛教記者　高島米峰氏

□演題未定……慶大教授　向軍治氏

□矯風會の主張……矯風會々頭　矢島楫子氏

□「藝妓」に就て……救世軍大佐　山室軍平氏

□現行法を勵行すべし……早大教授　安部磯雄氏

□敎育家の觀たる「藝妓」……成女高等女學校長　宮田脩氏

▲其他會長島田三郎氏、法學博士鵜澤總明氏外數氏目下交涉中

本會に所用の方は
東京神田區美土代町三丁目三番地
廓清會本部　電話本局四九〇番
宛に願上候

會費の納入

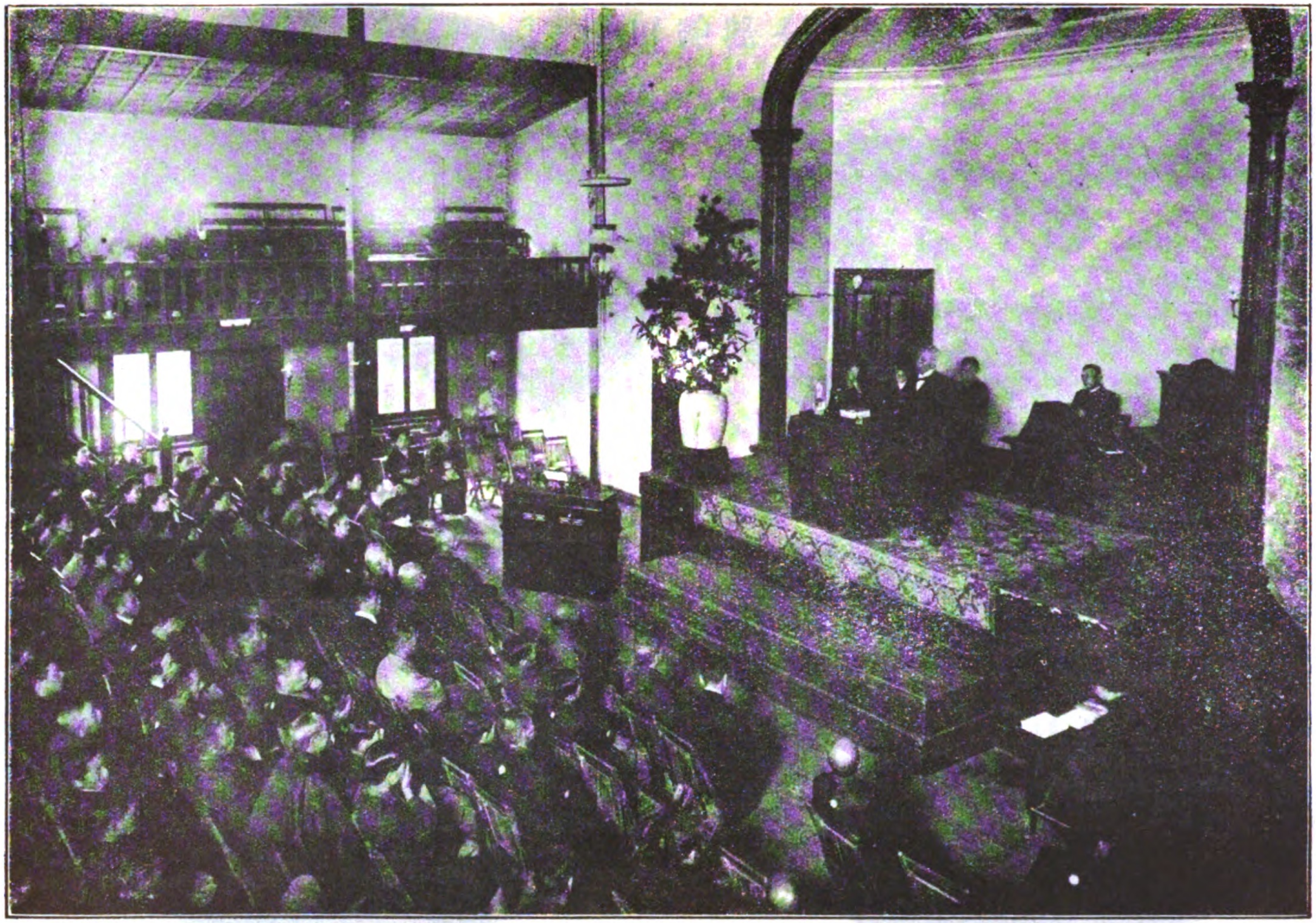
會費は郵便爲替、又は振替貯金東京一九五三三番益富政助に拂込まれたし。

(注意) 前項振替口座一九五三三番は益富政助氏名義にして廓清會所有にあらず、依て御送金の節は、必ず益富政助宛に御拂込相成たし。但し裏面に「廓清會費」と明記ありたし。

大正二年十一月十四日納本　一部定價金六錢
大正二年十一月十五日發行　(毎月一回十五日發行)

編輯兼發行人　伊藤秀吉
神田區三河町一丁目十四番地
印刷人　小林照雄
神田區三河町一丁目十四番地
印刷所　丸利印刷所
神奈川縣川崎町砂子百三番地
發行所　廓清發行所

矯風大演說會（講演者大隈伯爵）



婦人矯風會大阪支部廓清會大阪支部聯合主催

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

廓清大演說會講演の四婦人

婦人矯風會會頭 廓清會副會長 矢島楫子女史

廣岡淺子女史

婦人矯風會副會頭 廓清會賛助員 本多貞子女史

婦人矯風會大阪支部長 廓清會評議員 林歌子女史

第三巻第十一號（十一月）

大阪號刊行の辭

大阪は商工業の都である。東京を精神的だと見れば大阪は物質的である。一人々々を取つて見ても此の傾向が判然としてゐる。斯ういふ風に世間から大阪は解釋されてゐる。嘗て英國の廢娼會から應援に來たグレゴリー氏が、大阪をマンチエスターに比した。そして廢娼運動が倫敦に起つてマンチエスターで成功したやうに、大阪で遊廓を廢止したと喜んだ事がある。面白い言葉だと思ふ。前垂掛の大阪、算盤玉の大阪に於て奚んぞ知らん廓清會は常に偉大なる活動をなし、本部をして顏色なからしめてゐる。吾人は常に其熱烈なる同情、溌溂たる元氣、痛快なる奮鬪振りに滿腔の敬意を拂つてゐる。物質の大阪、換言すれば打算的な、冷い、といふ其言葉は、果して當つて居るか、どうか。

昨年二月本誌が大阪號を出したのは何であつたか、蓋し本邦未曾有の大運動を起して遂に同地難波新地を廢滅した其凱歌であつた。而して今又大阪號を刊行せんとする所以のものは、頃者頻に遊廓新設說流布せられ、何となく、山雨到らんとして風樓に滿つるの感があるので、本會同地支部は同地婦人矯風會と聯合して立つた豫防運動の紀念號である。而して同支部は例月分の外に本號二千部の增刊を求め、依之設置論者に誨ふると共に、前年の千人募集以上の大計畫を遂行せむとしてゐる。我等は本號を發刊するに當つて、深く大阪支部員の努力を感謝する。

一夫一婦は天地の公道

廓清會顧問　伯爵　大隈重信

偶然此會で皆さんにお眼にかゝり熱烈なる山室さんの演說を聞いたが、私は此處にお出になつて居るお婆さん――舊い知己の矢島さん、それから本多のお婆さん、皆私の友達で、林さんは私は十二三の時からの知合ひで、大阪に於けるこの婦人の運動の盛なることを聞いて私は喜んだ。

世界の人類が此婦人の問題を解決するに冷淡なる所の民族は段々衰へるのである。婦人を苦しめた處の民族は衰へたのである。婦人を囚へた所の國は今日衰亡して仕舞つたのである。所が基督が出て、初めて世界の人類が婦人の問題を誤つて居ることを說いて、玆に婦人の問題を解決した。私は基督敎信者ではないが、基督敎の道德中に自己の意見と一致したのがある。それは婦人の問題を人類の自然に從つて解決した事である。印度をはじめ東洋諸國、其他世界の宗敎家、哲學者が悉く婦人の問題を誤つて居つたのである。婦人は全く男子に服從すべきもので、婦人の人格を認めないと云ふ誤つた觀念が東洋其他の基督敎以外の國に盛んになつて居つた。而して悉く衰亡してしまつた。民族を墮落さして仕舞つたのである。處が日本は支那とか印度其他の國に比較して見ると割合に婦人を苦しめなかつたのであるが、今日は日本が歐羅巴の文明に比べて匹敵するに足らない所以は何處にあるかと云ふと矢張り婦人を苦しめたからで、之を言換へて論ずると婦人を苦しめた神の罰で、さう云ふのは皆今日段々と衰亡して所謂亡國の民となるのだ。支那などは全く亡國とは行かないが亡國に近いのだ。支那には革命戰爭が起つた、內亂が起つた。其內情は實に殘酷なものである。さうして今日に於ては藝術も文學も富も悉く亡びて仕舞つた。その色々の原因は斯く婦人を苦しめたと云ふ罰であつた。日本も好い加減に苦しめた罰を受けてから、ソロ〳〵衰へかけて、斯ふ云ふ婦人等の婦人の團體の運動が起るやうになつたが、比較的婦人を苦しめた度が少いから日本は勃興して居る。支那などでは婦人は到底研究の出來ないものとして、殆んど惡魔の如くに言つて、孔夫子すら、「女子と小人は養ひ難し」と云つた。印度も釋迦が女子は罪の深いものであるなどゝ云つて、女子を卑しめたから、今日のやうな有樣になつて居る。人類の自然に得た所の道德を行ふて人類に與へた所のものは基督敎である。此道德は玆に千歲の夢を破つたのである。今日我が日本政府は文明的立法の上に於て始めて婦人に人格を與へたのである殆んど此奴隷視された、婦人の卑しい職業をなすものを法律で以て禁止したのである。それから民法上でも婦人を國民として男子と同等の權利を認めたのである。

○

併し乍ら千載の惡俗は惰力のために其餘弊が今日殘つて、苦しんで居るのである。全體人間道德の根本は何から起るか

論理上精神的に何が故に起るか。人間の意識が何が故に、道德が何が故に、同情心が何が故に起るか、又何故に義務心が起つたかと云ふと、男子と女子と同等の關係と云ふことが土臺となつてるのである、卽ち同情心も是れから起る。義務心も是れから起る。人類互の社會的關係から此道德と云ふものは起る。是れから一般の國の風俗と云ふものも——善良なる風俗は皆これに基いて居るのである、男女の關係が進まなければ道德は進まない。

凡そ支那人程道德の言葉を多く有つてるものはどこにもない。世界中で道德の言葉を深山有つて居る國は支那である、而して支那人は一番墮落して居る。之を名づけて空念佛と謂ふ、是は人類根本に立入つて居ないからである。支那の立法者も聖人も哲學者も、それを覺らなかつたらのである。彼等は雑婚をして種類の正しくない夫婦が出來るから、人間道德の根本が紊れて來る。從つて何としても本當の道德が起らない。更に國家と云ふ一大團體から云つても社會道德が腐敗すれば必ず國が紊れる、そこで支那の國柄は何時も紊れて居るさうして支那には宗敎がない。藝術がない。支那は寧ろ個人主義、享樂主義の國である。斯くの如き民族は今日文明の競爭の間に存在する道理がないから到頭亡びてしまつた。之れはつまり女子を苦しめた罰である。天網恢々粗にして漏さず何時か罰が廻つてくるのである。そこで段々惡俗に染みて過を改むることが出來んと云ふのが今日の狀況である。

○

茲に於て救濟の必要が起つた。眠を醒すと云ふことは誠に至極結構なことで、殊に斯くの如き運動をするは男よりは女が宜い、若い婦人が最も宜い。さうするとこの我まゝな男も遠慮するやうになつて來るのであつて、若い婦人が一人〳〵でやると、男は好きな理窟をつけたがるから團體を作つて男子を威壓する。茲に於て大抵男女の力は平均する、決して女權擴張の意味でなく政治運動をすると云ふのではない。男子女子は自然的に本能的に違つて居るから、女は男の眞似をしろと云ふのではない、英國の女子參政權運動は新しい婦人である。又新しい婦人も必要であるが彼ア云ふ運動は餘り感服しないのである。婦人は矢張り極く靜かに〳〵婦人らしく、婦人の最も適したる處の感情、婦人の最も適當の同情、婦人の最も偉大なる同化力、而して一方には婦人の審美的な、美術的、優美なる——そこに婦人の本能的の任務がある。之を楯として而して若い御婦人達が一つの團體を組んで、之れを充分なる働きを以て結合すれば、今日我儘なる男子、墮落した男子を威壓することが出來るのである。然らざれば中々惡俗は急に改まらんのである。之れを改めるには女に限るのである。御婦人（後に座せる矢島、林、本多女史等を顧みて）斯ふいふお婆さんに、斯ういふお爺さん（自分を指さし）達が新運動をするよりは若いものに限るのである、尤も日本の新運動は若い御婦人であるが、歐羅巴邊の新婦人は隨分お婆さんが多い。どうかすると年を老つて、六十にも七十にもなつてなほ獨身で居るオールドミスと云ふのが居る。是はどうも餘り感服しない。人間の本能は婚姻である、婚姻が出來ないのは女子も男子も不幸である。

天の人を生ずる男子と女子は同一である。日本帝國の五千

萬人の内二千五百萬人は婦人である。其の内に一人の獨身男子が居れば、又婦人にも一人の獨身者がある。是れは自然に背いた譯である、其意味から云つても此娼妓の雜婚などゝ云ふのは罪惡である。然れば自己の慾望を滿す爲に人類を過ると云ふことは罪惡である。一夫一婦は自然の公道で、人間の本能的に定まつたものである。然るに澤山な妻を持つては他に妻を持たないものが出來なければならん。歐米に獨身者の多いのは歐羅巴文明の弊である。是れは何としても救はねばならぬ。段々人口が減つて來るのである。英國には百萬以上の夫を持つ事の出來ぬ婦人がある、之は社會の弊である。それで今日は男子も段々過ちを覺つて來たのである。人が惡を知つて後悔すると云ふ時に一齊射擊をやる、スルと過ちが改まるのである。

○

全體人間の歷史あつて以來五六千年になるのであるが、何が故に神さんは早く基督をお降しにならなかつたか、基督の現はれたのが三四千年遲れて居る。何が故にそれを神さんは人類の罪惡を放擲し人類の不幸を救濟することをなされなかつたか、是は疑問である。處が或神學者は斯う云ふ事を云つた。「全體人間が惡を爲す時は如何に神さんも仕方がない、放擲してあつたのである。そこで段々惡るくなつて、人力では到底仕方がなくなつた、これではならぬと云ふので當時の人が少し後悔を始めて、どうして宜いかと云ふことになり、初めて基督を降し人類の救濟をお遣りになつたのである。即ちこれが遽に世界的大宗教となつて今日擴まつて居る所のものは、丁度人類が過ちを改むる機會に來たからである」と。

モウ日本でも歐羅巴と同じく是れでは困ると云ふ事になつた。それは誰でも段々年を老つて子供が出來ると人間は勝手なもので、自分が道樂でも、子供が道樂では困る、自分の子供はよくしたい。一例を擧げて見れば、これは上方で名高い私の友人で、名を云ふ事は憚るが隨分道樂をやつた人がある處が子供が段々大きくなつて來た、然るに家庭と云ふが言語同斷、甚しく紊亂して居るから家へは置けない、そこで子供は自分に似ない善い子にして吳れと云つて私の所へ賴んで來た。之が中流以上の立派な人である。さういふ樣な後悔の機會に乘ずると此の運動は最も効を奏する。神が基督を下したのは丁度其機會である。私はよくは知らないが、眞個の基督敎の道德は男女の道德の中の最も大なるものである。

大阪に斯くの如き廓清會の起つたのは餘程喜ぶべきことであるが、上方は物騷な所である、物騷な所に澤山に起らなければならない。基督が何故に彼地に降つたかと云ふと、彼の邊は阿弗利加、羅馬、希臘、それから埃及、アッシリヤ、皆んなどうも物騷な、非常に墮落して、人間の墮落の極に陷つた所であつた。大阪の廓清會も上方が東京に比較して何んだか物騷だ。何うか婦人の大團體、若いお孃さん達、結構である、若い奧さんも宜しい、若い御方にも力がある。強い〳〵同化力がある。さうすると男が行儀が良くなつて玆に始めて廓清會の目的を達することが出來ると思ふ。私は此廓清會の盛んになることを望むのである。(文責記者にあり)

Digitized by Google

Original from COLUMBIA UNIVERSITY

制慾論

廓清會評議員
救世軍大佐補　山室軍平

（一）

ヘンリー、ワード、ビーチヤーが、嘗て斯ういふことを云つた、宗教家は何故か男女間の情慾に關する問題に就て甚だ冷淡である。彼等は斯ういふ問題に頭を用ゆることを卑しい穢らはしいと思つてゐるやうである。彼等は之を口にしないのを以て、自ら高しと考へてゐるらしい。けれども聖書の中にも情慾に關する事が澤山に書かれ、而も隨分露骨に錄されてゐる。之は如何に此問題が大切であるか、眞面目に考ふ可きものであるかといふ事を示されたるものでないか、と。

如何にもさうである。宗教家が妄りに卑しめて、如何にして情慾に克つ可きかを敎へなかつた爲に、いつ迄經つても迷ひ、世を擧げて惱んでゐるのである。今日の宗教家は今少し現實に卽して、人生を觀る必要があると思ふ。殊に現在の日本は此問題に就て最も大切な時期に立つてゐるのである。先年內務省で調製した各國の國勢を表はした表を貰つた事がある。それを見ると石炭の消費高であるとか、汽船の噸數であるとか、さういふものゝ多寡を棒を以て示してあるのであるが、どれを見ても英國や米國が一二位の處に居つて日本などは遙に足下に小さくなつてゐる、何一として上の方に上つてゐるものはない。で內務省の係員も餘り殘念だから、何か一つ位ありさうなものと、段々に調べて見ると、あるにはあつたが、發表の出來ないものであつた、それは私生兒の多い事と離婚の多い事であつたといふ。

之は實に容易ならぬ事である。何一つ諸外國に比肩するに足らない貧弱な日本が、發表の出來ないやうなものに於て他を凌駕してゐるといふ事は、心ある者の決して看過す可き事ではない。けれども我々を以て見るならばこは實に當然の結果である。日本には公娼制度が布かれてゐる。而もそれが世界に類例のない大袈裟な堂々たる形を以て現はれてゐる。それならば日本には私娼はないかといふと、私娼も亦日本は世界に並びなき華々しい形を以て表はれてゐる、藝妓は卽ちそれである。斯ういふ華々しい散娼を許すなら、何が故に公娼制度を布くか、又、公娼を置く位なら何故に私娼を認むるか我々は之を政府に糾したいのである。日本は斯うして世界第一の公娼國である、同時にまた世界第一の散娼國である。宜なる哉私生兒の數と離婚者の數との多い事や。

斯ういふ樣な狀態であつて、猶且つ日本の宗教家が之を救濟せんとしないのであるか、私は甚だ其の態度に慊焉たらざるを得ない。我々はどうしても公娼制度を撤廢せしめなければならぬ、彼麼華々しい私娼を撲滅せなければならぬ。あゝいふものを必要としない國民を作らなければならぬ。それに

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

は如何にして青年の情慾を抑制したらいゝか、私はそれを今日述べて見たいと思ふ。而して便宜上、舊約聖書にあるヨセフの青年時代の事にもとづいて、之を考へて見たい。

（二）

ヨセフはヤコブといふ人の十二人の男の子の中、其末から二番目に當り、少さい時から頗る悧發な質にて、殊に親のヤコブから可愛がられたのが禍の本となり、我朝の大國主命のやうに却つて兄弟等の嫉みを受けることとなつた。或日親からの言ひ付にて、遠い野原で羊を牧ふて居る兄弟等の許へ物を屆けに行つた先にて、其兄弟等の爲めに陷れられ、危なく殺害せられ樣として辛くも救はれた代り、今度はそこを通りかゝつたアラビヤ人に、僅かの金にて奴隷に賣渡さるゝことゝなつたのである。アラビヤ人はヨセフを伴れて行つて、之を埃及の奴隷市場に晒し、ヨセフは買はれて其國の侍從長ボテパルといふ、位高き人の家に僕として用ゐらるゝことゝなつた。そこにてヨセフは、必死に忠實を盡した甲斐があり神は又ヨセフが爲す所の事を悉く好都合に導き給ふた故。段々重く用ゐられて、終には家事萬般悉く擧げて其手に任せらるゝ程の信任を受くるに至つたのである。然るにヨセフの主人ボテパルの妻といふ人は、其心浮きたる婦人であつた者と見え、創世記の第三十九章に其顚末に就て次の如く錄してある。

夫ヨセフは容貌麗しくして顏美しかりき。是等の事の後その主人の妻ヨセフに目をつけて我と寢よといふ。ヨセフ拒みて主人の妻にいひけるは、視よわが主人家の中の物をかへりみずその有てるものことごとくわが手に委ぬ。この家には我より大なるものなし。又主人何をも我に禁ぜず只汝を除くのみ、汝はその妻なればなり。然ば我いかで此のおほいなる惡をなして神に罪をおかさんや。彼日々にヨセフに言よりたれども、ヨセフきかずして之といねず、亦與にをらざりき。其時ヨセフその職をなさんとて家にいりしが、家の人一箇もその內にをらざりき。時に彼女その衣を執て我といねよといひければ、ヨセフ衣を彼の手に棄おきて遁いでゝ外に遁いでたり。彼ヨセフがその衣を己の手に棄おきて遁いでしを見て、其家の人々を呼てこれにいふ。視よヘブル人を我等の所につれ來て我儕に戲むれしむ、彼我といねんとて我の所にいり來りしかば我大聲によばゝれり。彼わが聲をあげて呼ばるを聞しかば、その衣を我許にすて置て外に遁いでたりと。其衣を傍に置て主人の家に歸るを待つ。かくて彼是言のごとく主人に告ていふ、汝が我らに携へ來りしヘブルの僕、我にたわむれんとて我許にいり來りしが、我聲をあげて呼ばりしかば其衣を我許にすておきて遁いでたり。主人その妻が己に告て、汝の僕斯の如く我になせりといふ言を聞て怒を發せり、是に於てヨセフの主人彼を執へて獄にいる。

私は今此青年なるヨセフが、浮いた心を有するボテパルの妻から道ならぬ事を言ひよられながら、美事に之に打ち克ちたる事情に就て考へつゝ、諸君と一緒に、亦如何に情慾に克ち、此の世の誘惑に打ち勝つべきかといふことを、學び度と思ふ。

（三）

今先づヨセフが出あふたる誘惑は、如何なる種類のものであつたかといふことから、考へて見たいと思ふ。

第一、之は青年に取つて、殊に最も恐ろしき色慾の誘惑であつた。昔の人の歌に「わかき身は殊につゝしめ皆人のふみ迷ふのは戀の山道」といふことがあり、多くの青年が其多望なる身を誤まるのは、多くは此色慾の迷に原因する者であるソロモンの箴言「娼妓の口唇は蜜を滴らし、其口は脂よりも滑なり。されど其終は茵蔯の如くに苦く、兩刃の劍のごとく

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

くに利し、その足は死に下り、その歩は陰府に赴く。彼は生命の途に入ず、其徑はさだかならねども自らこれを知ざるなり。小子等よいま我にきけ、我が口の言を棄る勿れ、汝の途を彼より遠く離れしめよ、其家の門に近くことなかれ」などゝあり。何れも殊に青年に取つて、最も適切なる教訓であると謂はねばならぬ。ヨセフは此時迄に早く貧乏な目にもあひ困難にも陷り、兄弟等に棄てられ、他人の中で揉まるゝなど種々樣々の苦がい經驗を嘗めた。併し乍ら此最後に來りたる異性からの誘惑は、彼が青年時代の燃ゆる情慾につけ入つて來たものであるから、殊に恐ろしく又危險なるものであつた彼が一生の浮き沈みは、全く此情慾の誘惑を如何に處置するかに由て、定まるべき場合であつたことを知らねばならぬ。

●●第二、殊に此誘惑は彼が孤獨を覺えて居る際に、襲ふて來つたものである。其當時ヨセフは血を分けた兄弟等にさへ棄てられ、言語も風俗も異る他國に奴隷として市場に晒され漸く主人に事へて其信用を得かゝれば、又朋輩からの嫉み猜みを受けるといふ有樣。彼は自分一人にて頼りなく、寂しく覺えて居る場合に、忽ち斯から誘惑に出あふた者である。

諸君が田舍の温い朋友を離れ、都會の冷淡なる空氣に取卷かれ、何んとなく物寂しく、乏しく感じ始めらるゝ場合に。忽ちどこからか、生ま暖い言葉と素振りとを以て、諸君を誘惑しやうと近づく者がある。諸君は其生ま暖い、親切らしい顏色を以て近き來る惡魔を警戒せねばならぬ。諸君はヨセフと同じ樣に獨立獨歩の精神を振ひ起し、惡魔の誘惑に打ち勝たねばならぬ。又胸に湧き來る情慾に克つて、純潔なる生涯を送り通されねばならぬ。

●●第三、ヨセフに來りたる情慾の誘惑には、又利害の關係が伴ふて居つた。「諺に色と慾」といふことがある、而してヨセフの場合には、此二の力強き敵が一時に襲ひ來りたるものであつた彼は埃及に來て後、切角勉強と忍耐とを以て、忠實に主家の爲めに盡したる甲斐ありて、漸く其信用を受け、今は年少ながらも、主人の家の事を一切其手に托せらるゝ程になつて居つたものである。然るを此際若し主人の妻から、何んとか一言でも讒言などせらるゝ如きことがあつたならば、彼は忽ち其信用を失ひ、地位を失ひ、入牢位は未だしも、場合によりては斬罪に處せらるゝ如き恐れがないでもない。それに引かへ今若し主人の妻の言ふなりになれば、其の引き立てによりて立身出世は意の儘になるであらう。けれども若し其言ふ所を拒むならば、有ゆる災難は一時に其身に落ち來るであらう。之を如何に處置すべきであらうかと、彼は情慾の誘惑の上に、亦利害の問題を以て、試みらるゝことゝはなつたのである。

（四）

●●第四、加之誘惑は幾度となく彼に來つたのである。主人の妻は「日日に彼に言ひ寄りたり」と録してある。西洋の諺に「惡魔の顏は初めて見た時は、身慄ひする程いやらしいものだが、度々見る中には何んとなく好きになるものだ」と、いふことがある。其通り青年が初めて道ならぬことに誘はれた時には、身慄ひして之を厭ひ避けて居るにも拘はらず、漸く狎れては、此の如きものが今の社會の習であるなどゝ、惡い悟を開く。伊蘇物語に、一人の家主が其借家人なる革なめし

屋にむかひ、革の臭ひが鼻について困るから、速かに何れへか立退く樣にと、請永すれ共仲々出て行かぬ故、毎日催促に出かけて居ると、いつしか其臭ひに慣れて、果は催促に出かけながら、肝心の用向きは忘れて他の世間話などして歸る樣になつたといふのは、こゝの道理である。此の如く引續き襲ひ來る情慾の誘惑ほど、恐ろしいものは他にない。

第五、ヨセフの誘惑は又誰も人の居らぬ時に參つたのである。「梅折りてあたり見まはす野中かな。」人は誰か見て居るといふと、主の知れぬ野中の梅一枝を折るにも遠慮する。併し乍ら人の見て居ない處では、殆んどどんなことでも仕兼ないものである。「彼等が蔭にて行ふことは、之を言ふだに恥づべきこと也。」世の人は兎角祕密に惡い事を行ふて居る。併し乍ら「天に獨りの神ありて祕密を顯はし給ふ。」人は到底其隱れたる所に行ふ所の罪惡を、隱しとほすことは出來ぬものである。

第六、今一つヨセフの誘惑は、其の目上の人から來たのであつた。即ち彼は其の不義の行ひをなすべきことを、上に立つ人から勸誘せられたのであつた。諸君は其同級生や朋輩の中に不品行の人があるのみならず。其上役、年長の學生の中に、諸君を邪道に導かうとするものがあるかも知れぬ。如何に社會上の關係から、我が目上に立つ人であつても、斷じて道ならぬことを勸むる人に聽き從ふてはならぬ。或時今の獨逸皇帝陛下御乘用の快走船と祝ひ事があつて、一同に酒饌を賜はることになると、其水兵の一人に切角恩賜の酒盃を御辭退申上たものがあつた。これは不屆千萬の事であると、其上官が嚴重に其取調べをすると、其水兵は救世軍の兵士にて、兼々嚴正禁酒を誓ふて居るものであることが分つた。上官は怒つて之を詰責して居ると。其聲が圖らずも陛下の御耳に達し、何事なるかとのお尋ねがあつたので、止むなく事の次第を奏上すると。陛下は聞終りて後、莞爾と笑ませ給ひ。「其水兵を赦してやれ、朕は其如く堅固なる信仰のある軍人を尙も多く我が獨逸帝國に有ち度と思ふぞ」と、仰せられたといふことがある。私共には假令、目上の人からの命令なりとも、惡事は斷じて之を拒絕する丈の決心がなくてはならぬ。

（五）

然らばヨセフは、如何にして能く斯く迄念の入つたる、情慾の誘惑に打ち克つたであらうか。これは私共に取つて極めて大切なる敎訓を與ふる事柄である。

第一、ヨセフは成る丈、其主人の妻を避ける樣にして居つた者と見える。「彼日々にヨセフに言ひ寄りたれども、ヨセフ聽かずして之と寢ねず、亦與に在らざりき」と、あるのはその事である。而して此の惡い事に近づかぬ樣、成る丈之を避けるといふのは、極めて大切なる心がけである。徒然草には「筆とれば物かゝれ、なりものをとれば音をたてんと思ふ。盃をとれば酒を思ひ、賽をとれば双六うたんことを思ふ。心は必らず事にふれて起る」とあり。人は其見るもの、聞くもの、出あふものから、必らずなにがしかの感動を受けざるを得ないものである故、諸君は戒めて、已を惡に誘ふものに遠ざかることを努めなければならぬ。例へば如何はしき文書の如きものは、之を遠け退けねばならぬ。少年時代に見たる不良の書物圖書が、時としては一生其人の心に汚點をのこす

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ことさへあるのである。書物を讀むならば、諸君は己が靈性を養ひ、人格を高むる助となる樣な物を擇んで、之を讀まれねばならぬ。諸君は又、不品行不道德にして、道念の低い友人と交はることを避けられねばならぬ。「惡き交りは善き行を害ふものである。」ビーチョルは嘗て「墮落の近道は芝居見物である」と申したことがある。其如く下劣なる俳優に由て演せらるゝ、卑猥なる興行物などが、諸君に高尙なる感化を及ばさないのは、言ふまでもなきことであれば、諸君は如何はしき物見遊山等を警戒し、其代りに淸新快活なる運動でもして、心身を壯快に保つことを心がけられたが宜しい。諸君は又酒を遠けられねばならぬ。同時に酒の座に近かぬやう、用心をせられることが大切である。酒は軈て人を放蕩に導くものである。酒は又人をして、しらふで出來ない惡事を行ふに至らしむるものである。諸君は又惡い場所を見物にだも行つてはならぬ。諺に「ミイラ取りがミイラになる」といふことがあり。幾多の有望なる靑年は、只其好奇心に驅られて、行くまじき場所を見物などに出かけ、それから段々墮落して居るのである。そんな堅苦しいことを言ふて居つては、社會の事情が分らぬ、人情に通じられぬと言ふ人があるが、それは僻言である。堅氣で眞面目なる生活を營みつゝも、私共が知らねばならぬ程の社會の事情は之を知るに差支なきものである。必要は其時々、私共の知るべき程のことを敎へて吳れるものである。所謂男女交際の事に就ても、それが本にて身を誤るものが少くないやうである。私は此點に就て、諸君が寧ろ嚴格に失しても、決して柔弱に陷られてはならぬことを、くれ〴〵も警告したいと思ふものである。かくして諸君は、

(六)

一切の危險物に遠かられねばならぬ。

●第二、ヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽヽ（ヨセフは又其本務を忠實に盡すことによつて、其誘惑に勝つて居つた樣に見える。）「彼榮ゆるものとなりて主人なる埃及人の家に居る。」又「彼ヨセフに其家と其もてる凡ての物を司どらせし時よりして、エホバ、ヨセフの爲めに其埃及人の家を惠み給ふ」などゝあり。ヨセフは其本務に忠實であつた爲めに、良からぬ婦人の誘惑などに、惑はされなかつたものである。其如く諸君は亦、其當然の職分を忠實に盡すことに由つて、能く其肉慾の迷に打ち克たるゝ樣でなくてはならぬ。諸君が自己の本務を盡す上に、專心一意になつて居られさへすれば、如何なる情慾の誘惑も諸君により附く隙間はないものである。諺に「懶惰者の頭腦は惡魔の仕事場である」といふてある如く、閑人は兎角惡い事に陷るものである。昔ネヘミヤといふ人は、エルサレムの石垣は修復して居る最中其敵から某の日、某の處にて會見したいといふ樣なことを申込まれ。斷然之を拒絕して、「私は今大なる工事をなし居る故下りゆくことは出來ない」といふたと申すことがある。諸君も亦、惡魔が何と言はふと、情慾が如何に誘ふとも、「私は今大なる工事の最中に居るものである、一生涯の人格の基を据ゑんとて、其勤勞の最中に居るもの故、下り往て汝等と相手になつて居る暇はないのである」と、きつぱりして返事をなし得るやうでなくてはならぬ。卽ち諸君は不斷の勤勉と忍耐とに由つて、能く一切の肉慾に頭を擡ぐべき機會を與へぬ樣心がけねばならぬ。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

第三、ヨセフは又義理人情を考へることによりて其誘惑に勝ちたるものである。彼が言ふには「視よ我が主人、家の中のものを顧みず、其有てる物を悉く我が手に委ぬ。此家には我より大なるものなし。又主人何をも我に禁せず只汝を除くのみ、汝は其妻なれば也云々。」彼は亦其主人と、其主人の家に對する義理を考へることに由て、危ない誘惑を免れた者である。諸君に於ては如何、諸君は其老たる兩親に對する義理を考へられねばならぬ。又は友人知己、進んでは日本の社會に對し、同胞に對して、負へる義務責任の大なることを考へられねばならぬ。さすれば諸君は一日片時と雖も、浮いたことなど思ふたり、行ふたりして居る暇のないことを發見せらるゝに相違ない。

第四、次にヨセフは又情慾を擅まにするは「大なる惡」なりと認むることに由て、其力強き誘惑に勝つたものである。淫猥な事をすれば信用を失ふとか、健康を害するとか、金をなくするとかいふ如き、低い動機で人間の情慾に克つことは六づかしい。私共は利害の打算以上に、善惡正邪といふことを辨へねばならぬ。如何なる泥棒か弱き婦人の節操を盜んで之を辱かしむるに愈る大泥棒があらう。如何なる人殺しか、女性を精神的に殺害し、而かも之を一生涯の嬲り殺しにするに愈る人殺があらう。女性を侮辱する男子は此上もなき卑劣漢である、人非人である。又社會の秩序を亂し、家庭の神聖を穢し、人間の品位を辱かしめ、神と人との前に此上もなき惡事を行ふ所の大罪人である。それ故諸君は、情慾を擅まにすることは即ち畜生道である、墮落背德の罪人たる所以であるといふことを知つて、かゝる誘惑に打ち克つことを努められねばならぬ。「若し右の眼汝を罪に陷さば抉き出して之を棄てよ、蓋五體の一つを失ふは全身を地獄に投げ入れらるゝよりは勝れり。若し右の手汝を罪に陷さば之を斷りて棄てよ、蓋五體の一つを失ふは全身を地獄に投げ入れらるゝよりは勝れり。」私共は此ういふ心を以て、殊に情慾の誘惑を戒め却けねばならぬ。

(七)

第五、ヨセフは又天の眞の神を畏れ敬ふ事によつて、肉慾の誘惑に克ちたるものである。「我いかで此大なる惡をなして神に罪を犯すべけんや」と。今の憂は人々に神を敬ふ心のないことである。人は神の御目をくらまして、惡事を行ふこと能はざるものである。それ故私共は天畏ろしいといふことを知つて、天の許さぬ惡事を行はぬ人間とならねばならぬ。それと同時に神は又其御憐みを呼び求むる者に近く在し、弱く力なき私共をさへも助け守つて、惡を避け善を行ふ力を授け給ふものである。元來人は自分で惡と知りながら之に克つこと能はず、又善と知りつゝこれを行ふ力を有ぬ樣な場合が多い。けれども私共が一旦悔改めて救主基督を信仰し、天の父なる神に賴る樣になると、私共はこれ迄自分に有たなかつた新しい力を授かることが出來る。これは經驗のない人々には聊さか不思議な話の樣であるかも知らねど、私共年頃神に從ひ事へて居るものには、寸分疑ふことの出來ない實驗上の事實である。即ち「エホバを畏るゝによりて、人惡を離る。」又「誰か能く世に勝たん、耶穌を神の子と信ずる者に非ずや」などゝあるのは、皆此信仰の力によつて、一切の浮きたる事や

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

罪慾に打ち克つ道理を敎へたものである。

第六、ヨセフは又斷乎たる決心を以て、其誘惑を却けた。良からぬ婦人に捉へられた上着を、其儘婦人の手に殘して置て、決然として外に出て行つたといふのは、彼が其當時の覺悟の如何ばかり堅固であつたかを想像するに足る事實である所謂「斷じて行へば鬼神も避ける」といふのは、此事である。私共は一切の罪惡に對し、一刀兩斷「否」と答へ得る樣でなくてはならぬ。「然り」と「否」とを曖昧にするのは、有ゆる墮落の本である。殊に情慾の誘惑に對しては、其初對面の時、直ちに斷然「否」といふて之を拒絶する樣でなくてはならぬ。

（八）

ヨセフは斯くして、美事其入り組んだる、かち難き情慾の誘惑に打ち勝つた。然らば彼が美事其情慾に打ち勝ちたる結果は、何うであつたかといふに。

第一、彼は之に由て其一身を潔く保つことが出來た。昔佐久間象山といふ人は「余年二十以後、乃ち匹夫の一國に繫りあるを知り、三十以後乃ち天下に繫りあるを知り、四十以後乃ち五世界に繫りあるを知る」と申された。これは唯佐久間象山の樣な、豪い人物にして始めて口外の出來る語かも知らねど。それにしても私共、此世に生きとし生ける程の人間に、何れか相當の使命を帶びずして出で來りたるものがあらう。私共は自ら愛惜する所がなくてはならぬ。而して己が肉體の慾に打ち克つことは、是れ最も善く其身を保つ所以の方法ではないか。

第二、ヨセフは己が情慾に打ち克つことに由て、併せて一婦人の操を全うせしめ、亦其主人の家庭の破滅を免れさせた。婦人を弄ぶことを男子の特權の如く心得る世の中は禍なる哉私共は心得違ふたる婦人を戒めて、之を清き人とならしめんことをこそ望め、決して左樣なる婦人の誘惑に陷り、共々に地獄の滅亡に墮ち行く如きことがあつてはならぬ。又男女間の亂れは直ちに家庭を紊亂し、之を破滅せしむるものであることを思ひ、唯其點からいふても、十分に純潔の德を重んずる樣でなくてはならぬ。

第三、彼は又此の事によりて大に其の人格を鍛えることゝなつた。智識は閑靜なる書齋にて養はるべきものであれど、人格は生きたる社會にて造らるべきものである。ヨセフは此力強き誘惑に勝ち、此點に於て試驗濟の人物となることにより、一層其信賴すべき品性を鍛え上げたるものである。

第四、ヨセフは此事から、飛んだ濡衣を着せられて入牢した。併し乍ら之は帝室附屬の牢屋であつた爲め、彼はこゝにて國事犯罪人や、其他要路の有司の罪に陷りたるものなどゝ同囚し、いつしか埃及一國の政事、外交、經濟等の事情を悉く傳習することゝなり、他日一躍して、埃及の總理大臣に任せられ、たぐゐ稀なる功績を擧ぐるに足る下地を造ることが出來たのである。此意味から言へばヨセフの入牢は、彼に最上の修業の便宜を與へたものに過ぎぬ。「汝等若し過失をなし撻たれて之を忍ぶとも何の嘉むべき事かあらん乎。されど若し善をなし、苦められて此れを忍ばゞ神に嘉稱を得べし」と、敎へてある。

（九）

第五、彼は斯くして又埃及國民を未曾有の厄難より救ひ、又其一家族、殊には前日我を亡き者にし樣としたる兄弟等を迄、溺死の苦境より救ふことが出來た。「ヨセフ彼等に言ひけるは、懼るゝ勿れ、我豈神に代らんや。汝等は我を害せんと思ひたれども、神はそれを善に變らせ、今日の如く多くの民の生命を救ふに至らしめんと思ひ給へり云々。」神は義しき人を守り給ふ。神は私共をして何か世に益ある働をなさしめんとて、其下稽古の爲め見計らふて樣々の困苦試錬を私共に加へ給ふものである。それ故にいふ「忍んで試錬を受くる者は幸である」と。

第六、而して彼が私生涯のことを言へば、彼は時至りて良家の處女を娶り、人も羨む幸福なる家庭を作り、子孫も繁榮して、神にも喜ばれ、人にも祝福せらるゝ一生涯を送つたのであります。故ブース夫人は或時其子の一人を戒めていはるゝ樣、結婚問題に就ては「待て」といふ一句を汝に推薦する。早まるな、神の時を待て。時到らば神は汝の協同者として、神と人との爲めに有用なる奉事をなすに適當したる人物を與へ給ふに相違ないと。諸君が神を敬ふて其情慾に克ち、天畏ろしいといふことを知つて、一切の誘惑を却け、能く高尚にして純潔なる生涯を送り、天晴世を益し人を益するの人物とならんことを、切に祈るものである。

尚最後に一言し度いのは、諸君が廓清會に入會せらるゝ事である。之れが情慾に打ち勝つ最良の手段である事である。廓清會の會員として人道の爲に闘ひ、人に貞操の尊む可きを勸奬する事は、自己の純潔を持する所以の最良の道であることである。

酒と犯罪との關係

醫學博士　片山國嘉氏（談）

酒が精神上に及ぼす影響は常に犯罪性となつて現はれる。酒精の働きは神經系統を犯し、麻醉となつて現はれ、人體の組織上必要な蛋白質を破壞する。此結果意識、注意、感覺、領解、記憶、感情、聯想、考慮、判斷、意志、の總ての精神作用が鈍くなる。けれども飮んだ人から見れば餘程自分の精神が機敏になつた樣な心地がする。併しそれは實は粗忽かしくなつたのである。斯うなると犯罪が着纏ふのは當然で、毆打とか傷害とか或は器物を破壞する犯罪を構成する。

獨逸の或る學者はビール半リートル(二合五勺)でも精神機關の異狀を來すといふ證明をしてゐる。歐羅巴の囚徒の內その半分は總て飮食家ださうだが、日本でも三池監獄の若山典獄が囚徒のうちで飮酒家と非飮酒家に就て取調べたら、百人の中八十人は犯罪の裡面に酒が附纏つて居たといふ。

アルコホル中毒に罹つた人は、其の性同情心に富んだ身でも、忽ち性格が一變して利己主義となり、搗てゝ加へて不人情な行爲を平氣でする。さうして癇癪持ちとなつて米を買ふ錢が無いのを知り乍ら、酒を買つて來いと細君を苛める、駄々を捏ねる、其の揚句は不健全なる精神作用を起して詐欺、窃盜、其他の不良なる行爲を働くのであるから、犯罪の裏には必ず酒があると云つて可い。謹む可きは酒である。

廢娼の第一步

廓淸會理事　益富政助

(一)

大阪では今日迄度々廢娼の演說會は開かれたのであつて、廢娼論も隨分今日迄繰返された事である。それ故或は私の述ぶる處は諸君に取つて陳腐であるかも知れない、けれども泥棒がゐる間は泥棒してはならぬといふ陳腐な道德を說かなくてはならぬし、更に又盜人たけ〲しく、所謂泥棒繁昌の時代には殊に泥棒するなの古臭い道德を高調せなければならぬ必要がある。それと同じく大阪に遊廓があり、賣春婦が蔓つてゐる間は、陳腐なる廢娼論も亦止むを得ないのである。

而も大阪は娼妓の數に於て、其割合は日本第一である。世界一の淫賣國といはれてゐる日本中の其又第一に位する大阪の事であり、更に之に附加へて今一つ遊廓の新設でもしやうと計劃してゐる人々も少からずあるといふ話を聞いては、古臭い廢娼論の絕叫も亦止むを得ないと、諦めて貰はなくてはならぬ。

扨廢娼論を、少くとも諸君に徹底する樣に說き盡す爲にはどうしても私が研究してゐる處だけでも、一時間の講演を十回位續けなければ言ひ盡せない。僅少の時間に委しい說明をなし、充分に諸君に徹底するやうに說き盡す事の出來ないのは甚だ遺憾であるが、亦已むを得ないから、どうぞ足らぬ所は廓淸會が出版してゐる冊子、又は雜誌廓淸に就てお讀み下れむことを願つておきます。

(二)

廢娼論とは何であるか、其第一に意味する處は卽ち今日の娼妓を廢せよといふのである。併し警察署の名簿に載つてゐる處の所謂官許娼妓のみを廢しやうといふのではない、進んでは藝妓でも密賣淫婦でも、妾でも凡ての貞操を賣買して生業とする樣なものを、全く廢してしまはうといふのである。從つて隨分廣い問題で、又解決の困難な運動である。けれども又、我等の主張の一部は、若し當局者にして實行しやうといふ意志さへあれば、明日からでも直ちに實行し得べき事項をも含んで居ることを知つて居て戴きたい。

そこで余は先づ廢娼論を二種に分つて

第一、理想論としての廢娼論

第二、實際論としての廢娼論

として見やうと思ふ。更に又實際論としての廢娼論を分ちて

第一、比較的理想論としての廢娼論

第二、全く實際問題としての廢娼論

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

とする。偖實は理想論としての廢娼論、それを第一に説くといふのが順序である、何となれば之が即ちいはゞ廢娼宗の教理原理とでも謂ひつ可きものであるからである。けれども多少常識ある方々は廢娼論の理想の間違つてゐるといふ樣なことを主張する者は先づない、廢娼論や其理想は甚可なるも、之を實際に當てはめて實行し難い、といふのが普通人の考ふる處である。さういふ譯で多くの人は、理想論としてよりか實際論としての方がよく今日の社會に理解されてゐないやうに思ふのである。されば順序を顛倒して先づ之れから我々の考ふる處を述べて見やうと思ふ。

（三）

余の所謂實際論としての廢娼論は公娼廢止論ではない、現在の制度を其儘に暫く認容して置いての議論である。公娼制度を認容するといふやうな事は、無論廢娼家の許す事の出來ない事である。併し乍ら我等をして暫く社會改良家、宗教家の立場を去つて、政治家としての立場に立ち、此問題を考究する必要もある。又よし我々が之を如何に議論の上に於て否定するとしても、實際に於て此制度が此國に於て撤廢せられない間は、先づ事實存在してゐるものである。實際論としての廢娼論は此事實に立脚しての議論に外ならぬ。

我々は此公認制度の撤廢を望んでゐる。けれども色々の事情の爲に今日明日と、すぐに實行が出來ない事であるとすれば、さういふ時代が來る迄の處、今の樣な狀態を此儘忍ぶ可きかといふに、とても出來ない事である。それ故私は公娼制度廢止に至る迄の間に於て、即ち現在の制度を此儘にして置いて、今一言附け加へて云へば、遊廓を設け娼妓を設くるに至つた當局者の目的、社會の要求、それを少しも否定せず、一つもそれに反對しないで、而も當局者に是非實行して貰はなくてはならぬ數箇條を述べて見やう。

（四）

第一　娼妓をして娼妓たらしむること。

これは分り切つた事である。併し今日の實際は此分り切つた事をも一箇條として茲に擧げなくてはならぬ狀態になつてゐる。即ち今日の娼妓なるものゝ中には自ら娼妓たる事を欲せざる處の娼妓、或る一の壓力の爲に壓迫せられて或他の力の爲に束縛せられて、即ち止むを得ず餘儀なくされて娼妓たるものが澤山ある。論より證據假へば此大阪の七千の娼妓に對して、お前達には明日から全き自由を與へるから何處へでも行き度い所へ行け、少しも遠慮はないからといふ事を縣知事が令達したらどうであらう。然らば恐らく八九分通り、少くとも六七分通りは羽がついた樣に喜んで飛んで行つて了ふであらう。即ち彼等は娼妓たることを欲して娼妓となつてゐるのではない、其心、意志に於て娼妓たることを欲せない者が大多數であると認めねばならぬ。これは不都合な事ではあるまいか。

又西洋の賣淫婦と日本の娼妓と異なる處も一つは其所にある、西洋の娼婦は比較的多く自ら娼妓たらんことを欲する娼婦である、日本の娼妓は殆んど凡て他働的に娼妓たることを餘儀なくせしめられてゐる處の娼妓である。といふこと、茲に改良すべき第一箇條が確にある。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

當局者は正に娼妓をして娼妓たらしめ、娼妓たらざる事を欲する者に娼妓たらざらしめる事に努力せねばならぬ。これは人權保護の任にある警察當局者の相當の義務である。勿論ある場合には當局者は本人の自由意志以外に國の力を以て人民をして其好まざる處をもなさしむる必要がある場合もある、假へば徴兵の如きである。勿論之は義務と見んより寧ろ人民の權利となすべき性質のものではあるが、時として之を忌避せんとする者もある場合、斯ういふ人に對して、國家は國家の壓力を以て徴募を強ふるのである。けれどもさういふ場合は、其事それ自身が國家の爲に必要なくて叶はぬ場合に限らるゝのである。

併し娼妓の如きは、徴兵などゝは丸きり違つて、一人にても少い方が社會の福益であり。一人にても娼妓の數の多い事が社會の禍害である。故に我々の主張する通り自ら娼妓たる事を欲する婦人のみ止むを得ずとして之を娼妓たらしめ、娼妓たることを欲せざる凡ての婦人をして、娼妓たらしめない樣にするといふ事は社會の福益を進めて、禍害を取除く事ではないか、我々の要求に些の無理のない事を認めて貰ひたいのである。

(五)

第二　貸座敷をして貸座敷たらしめよ。

といふことである、これも分り切つた事である。併し今日の不都合な事實は、此の分り切つた話を、事新しういはねばならぬ必要に迫つてゐる。

貸座敷とは何であるか、讀んで字の如く座敷を貸すといふ商賣、座敷貸業である。其點に於て旅館や下宿とちつとも異つた處はない、若し異るといふならば、旅館又は下宿業は善良なる人民を宿泊せしむる處であるし、貸座敷は不良不善な婦人が不良不善な客を宿泊せしめて、不良不善なる稼業を營む爲に座敷を提供するといふ點である。それ故其職業の品位に於て雲泥の差はあるが、併し人に自分の所有物、部屋を提供して、貸賃を取つて生業とするといふ點に於ては互に同じである。

即ち貸座敷業は座敷を貸すのが目的であり、娼妓はそこに出稼をしてゐる一個獨立の稼業者である事に諸君の御注意を望みたい。其獨立の稼業者たる娼妓が、貸座敷の座敷を借りて、己れの稼業を營むといふのが表向きの事である。

然るに今日の事實は果してさうなつてゐやうか、表面はさういふ理由で營業を許されてをり乍ら其事實に於ては最も人道に悖れる人身賣買の業を營み、男女淫行の媒合容止を以て業とせるではないか。政府は貸座敷業を許してゐる、併し人身賣買業を決して許してはゐない、然るに不思議なることには其政府が許してゐない處の人道上法律上不都合なる行爲を營んでゐる事を知り乍ら、尙且つ之を不問に附してゐるといふ事は不都合極まる事である。當局者は貸座敷業者をして唯座敷を貸す事を營ましむべく努めねばならぬ。貸座敷業をして淫行媒合業、人身賣買業の不埒なる餘業を營む者に對しては、乾度嚴重なる制裁を加ふべき筈である。

(六)

第三、遊廓制度の目的に叶はしめること。

政府は何故遊廓を設けたか、其一つの目的は善良なる人民の間に斯かる不良なる營業者がゐては其善良なる風俗を害するが故に、其取締の必要上、善良なる人民と不善良なる女郎屋若くは女郎なる者とを區別したのである。それ故遊廓の廓の字は城郭の郭である、籬をこしらへて一區郭を設けたる意味である。そして眞實さういふ意味に叶へる遊廓もある、然し叶はない遊廓も中々少くない。先づ東京では新宿、品川、北千住、板橋の遊廓の如きはそれである、往來の兩側に貸座敷がある。又地方に行つて町を見物致してゐると不圖貸座敷の前などにひよい〱と出て來る事は度々で、町の眞中に善良なる人民の間に貸座敷が軒を並べてゐるのである。之は最初から斯うであつたのではない、最初は隨分町と隔つてゐたのだけれども、其間に市若くは町が發達して、遂に善良なる人民の家で取圍まれる事になつたのであるに違ひない。

理由はそこにある、併しどんな事情があらうともどんな歴史があらうとも、事實それが遊廓制度を設けた目的に叶はないといふ事が明かな以上は、政府は其權力を以て善良なる人民を保護する必要上、彼等に移轉の嚴命を與ふることは當然であるといはねばならぬ。

此一點から云つても、日本全國に整理せねばならぬ遊廓は數あるだらうと思ふ。

（七）

第四　建築に制限を加ふること。

嘗て板垣伯に會つた時、伯は内務大臣であられた時代、遊廓の建築制限法を實行せられる事にちやんと準備が整つてゐた、けれども内閣變動のために事實にならなかつたと語られた。實に遺憾な事であつたと思ふ。伯の意見では監獄の樣に十分塀を高うして外から遊廓の中を覗き見る事の出來ない樣にせねばならぬといふ事であつた。至極同感である。

一體遊廓は社會の便所だと遊廓を是認してゐる者は言ふ。けれども今の遊廓は便所にあらずして公園仕掛の金殿玉樓である。遊廓制度の目的たる善良なる風俗を保護する上から云へば、出來得る限り善良なる民衆の眼には着かない樣にする事が必要であるのに、今の遊廓の造り方は其町に於て一番眼に着き安い樣に出來てゐる、之は遊廓制度の目的に決して叶つたものといふ事が出來ない。まさか、あんな立派な家を設けておかなければ、公娼制度の目的たる檢梅の實行が出來ない筈もなからう。

要するに彼等の家を改造して二階以上は全部取壞させねばならぬ。皆平家建にして、而も其平家よりも、少くとも一間若くは二間位高く塀を作つて、全く外から覗き見る事の出來ないやうにせねばならぬ。

（八）

第五　貸座敷にて飲食物を供せざること。

是は警視廳の栗本第三部長なども既にさういふ意見を有つて居られる、私共は何故に直に其意見を實行せられないかを遺憾に思ふ。

遊廓を設けたのはつまり性慾を滿足せしむるにある、性慾の滿足、これが實に根本の理由である、然るに飲食物を、殊に酒を飲ませることが何で必要であるか、飲食の必要なものは

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

料理屋なり飲食店なりに行くがいゝのである。元來公娼制度の一目的は檢梅即ち衞生的條件を施す事である、それならば飲酒といふものは其檢梅法の目的を破壞するものである。酒が花柳病の傳染力を助長することは、醫者でなくてさへも知れ切つてゐる事實である、若しも檢梅をしてまで少しでも病毒を少くせねばならぬ必要があるとすれば、其傳播の最も强い媒介者たるアルコホルの飲料を無制限に呑ませる事は、全く矛盾した話ではないか。

又彼處で飲食物を供するが故に、青年をして終に救ふ可からざるに至らしむる。啻それ性慾滿足の單一目的であるならば、或點から云へば害は比較的少いのである。去り乍ら酒を呑む事を許すが故に、それがため全く本性を失つて、泥海に深入して、遂に足拔きも出來ない樣になつて了ふのである。貸座敷業者から云へば如斯にして客を麻醉せしめて、客の金を分捕る事は巧妙な政略であらう、けれども貸業者に好い政略であるだけ客の側から云へば最も厭ふ可き事である。

戊申詔書の趣意などから云つても、忠實業に服し勤儉產を治める樣にこそあるべき筈。譬へ不忠實不勤儉の者でも出來得る限りは忠實勤儉に近づかしむるやうに努めるべきに、酒を飮ませて却つて益々不忠實、不勤儉に陷らしむるやう所謂誘惑物に丸をかける樣な事をさせておくといふことは、斷じて青年を善良に指導する所以の道ではない。

（九）

第六●●●●●●●●●●張見世を止めさせること。

之が又實に不都合なる習慣である、政府は始終春畫の賣買などを檢擧する、結構な心掛である。去り乍ら春畫とは紙に書いたものである、張見世によつて公衆に訴へらるゝ印象は春畫以上、否彼は紙の上の春畫、之は事實の春畫でないか、肉慾挑發の最も大なるものではないか、淫靡なる小說などの比ではない、小說や繪畫を取締る事を知つて、此事實を取締ることを知らないといふのは、本末を顚倒した處置で、甚大なる手落といはねばならぬ。

又張見世を撤廢すれば遊廓の弊害が隨分少くなるといふ事を信じ得る理由がある。第一冷かし客又は見物人といふものは全然行かなくなるだらう。東京の吉原に就て見れば、田舍の人が東京に來て先づ二重橋を拜む、そして其次には必ず吉原を見なければ土產話が出來ないといふ狀態である。外國人の心ある人々が東京に來て、吉原を見て眉を皺めない者はない、斯くして海外にまで醜名が鳴り、恥を晒してゐるのである。而して其最も恥をして大ならしむるものは實に張見世の慣習である。

若し之がなかつたら見物に行く者はなく、全くある目的を有する者のみが行く事になるのである。夫婦相携へて吉原に行く、親が子の手をひいて吉原に行く、何の爲であるか、所謂女郎買の爲ではない、見物の爲である、斯くして節操といふ道念を鈍らしめるのである。羞恥の觀念を麻痺せしめるのである、或は淫心を挑發せしめらるゝのである。此見物なるものを全然止める事だけでも遊廓によつて社會の蒙る損害を餘程減少せしむることが出來る、と斷言するを憚らぬ。

然らば張見世撤廢は困難の事であるかといふに、現に或る所では既に實行してゐる。張見世でない方が却つて上等の部

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

2—448

になつてゐる様な譯である。西洋料理店などのやうに、應接間にプログラムでもおいて、そして姓名簿と寫眞ブックとがあれは用は足りるのである。

今の内務省の風俗取締の精神から云つても、是非これは實行して貰はなくてはならぬ一ヶ條である。

（十）

第七　**廣告手段を差止めること。**

板垣伯も同じ様なことを云つて居られた、一體公娼政策は行政上の消極的政策である。決して斯ういふ事が望ましいことではないけれど、社會の一隅に其要求がある以上は止むを得ないから、斯様にでもしたら其一部の要求を充すと同時にそれによつて生ずる弊害をより少くすることが出來やうかといふので公娼政策は起つたのである。極めて消極的のものであつて、決して今の様に大ピラに奬勵的に、あらゆる廣告手段を用ひて營業の發展繁昌を圖るべき性質のものでない。戊申詔書の御趣意から云つても我々はさうあるべき筈だと思ふ。然るに菊花壇を設けるとか、夜櫻を植ゑるとか、二輪加を出すとかいふことをさせ甚だしきは機關新聞まで發行して始終世間の注目を惹いて、努めて嫖客を誘致しやうとするのは甚だ不都合な仕方であるといはねばならぬ。

又隔離制度の遊廓の目的から云つても、決して彼等に大ピラに廣告をして世間の注目を惹くやうな事を許すべきでない。廣告手段は斷じて許してはならぬ。

（十一）

第八　**娼妓に自由を與へること。**

少くとも娼妓に客を選擇するの權利を全く娼妓のものとしておかねばならぬ。

昔の花魁といふものはさうであつた。併し今日に於ては十人中九人迄客を選擇する權利すら有つてゐない、それ故に假令肺病其他の傳染病をもつてゐる客であつても、娼妓は樓主の命であればそれに服從せねばならぬ。西洋の娼婦は少くとも此自由の權利を有つてゐる。日本の大官などで、彼等から拒絶されたといふ様な話も間々聞いた事である。

今一つは厭な時にはいつでも勝手に休業するの自由を與へねばならぬ。今の實際では彼等が月一回の普通の病氣の場合でも、乃至親の命日であらうとも、遠慮會釋なく樓主の嚴命で御客を取らねばならぬ。

昨年、先帝陛下崩御の時ですら、表向だけは店を閉ぢて謹愼の眞似をしてゐたが、驚く可し裏門から出入の客を呼び込んで巫山戯てゐた處は決して少くなかつた。あゝいふ場合に行く男も男、又揚げる樓主も樓主である。殊に九月十三日御大葬の當夜は、其頃で吉原の客は最も多かつたといふ事實がある、不臣の極、言語に絶するではないか。忠君愛國を以て誇る日本人に殆んど信じ得可からざることではないか。而もそれが娼妓の方では、卑しい女乍らも、せめて此一夜を謹愼し哀悼の誠意を表し奉らんと望んでゐるにも拘らず、それを無理往生に不忠君、不愛國の所業を敢てせしめる樓主あるに至つては、其罪實に赦す可からずである。

要之、客を選擇するの自由と、休みたい時に休むといふ自由の權利は是非之を與へなければならぬ。否それ丈ではなら

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

ぬ。もう一步進んで廢業の自由を確保してやらねばならぬ。

（三）　所謂**自由廢業**は内務省娼妓取締規則の精神だ。娼妓の自由を保護する爲めに内務省の娼妓取締規則は出來たのである。然るに今日の事實は如何、茲に一人の娼妓が廢業を思ひ立つて警察署に飛び込んだとすると、其場合に於て警察官のなすべきことは、娼妓の意志が止めたいといふ意志でさへあれば、規則の正文に基いて直に其名を名簿より削除し、娼妓の廢業を差許すべき筈であるのに、事實は然らずして警察官は『樓主に相談は濟んでゐるか、借金はもう皆濟してゐるか』といふやうなことを聞くのである。それが濟んでゐないとすればそれではよく相談した上で廢業せよといふ、そして樓主を警察に呼ぶか、或は娼妓を其樓に逐ひ戻すかする樣な事をする、無用の手數であるのみならず、娼妓取締規則の精神を無視したやり方である。

警察官は、折角醜業を厭ふて正業に就かんとするものを、妨害しつゝあるのである。惡を去つて善に就かんとするものを引留めて、又元の醜惡なる罪の巷に逐ひ込む事を說諭と考へてゐる。「**自由廢業**」といふ言葉は一種の危險思想であるかのやうに彼等は心得てゐる、どうしても先づ此警察官の自由廢業に對する態度を改めて貰はなくてはならぬ。而して、充分に娼妓の自由を擁護して貰ひたい。

（十二）

第九　**娼妓の年限を短縮せしむること**。

私は一年と主張したい、事情いけないとしても長くて二年以上許してはならぬ。

自由廢業をした娼妓の結果がどうかといふことは、度々聞かるゝことであるが、併し今日の樣に娼妓稼業の年限を永くしては、廢業後の成績如何などゝいふことを聞かれた義理ではない。婦人救濟事業に從事した人の經驗によれば一ケ月でも一日でも、なるたけ其時間の短い丈それ丈感化遷善がなし易く、之れに反してあゝいふ商賣を永く續けたもの程感化し難いのである。要するに彼等が感化遷善の見込は、その幾年間惡しき巷に沈んでゐたか、其年月と比例するものである。故に此の惡しき婦人をして善良なる婦人たらしめ、此不幸なる婦人をして幸福なる婦人たらしめんが爲には、どうしても娼妓の年限に大なる制限を嚴重に加へねばならぬ。

毒喰はゞ皿までといふ諺は、常に惡德に伴ふ傾向であつて年限が極めて短期であれば又道を踏み變へて新しき道にといふ希望もあるけれども、今のやうに三年と定めておき乍ら、五年でも六年でも自由に繼續を許してゐては、とても、彼等を感化遷善せしめることは覺束ない。のみならず若し此一年と限れば貸座敷業者が之が爲に注ぎ込む金額も少い譯であるから、つまり足を拔くといふにも甚だ拔き易い事情も伴つて來る、又國家經濟から云つても、どうしても娼妓の古手が他日役に立つやうにしておかなければ、甚だ損である。永い間あゝいふ處にゐると何の役にも立たなくなつて了ふ。婦人救濟所などで救濟して仕事をさせて見ても、飯を焚く事も出來ない、縫針が出來ない、所謂不都合の娼賣の外は何にも出來なくなつて了ふのである。

啻に精神的のみに止らない、生理上にも變化が生ずるのである。第一花柳病といふ危險なるものに包圍される、これか

ら生ずる種々の身體に及ぼす影響の戰慄すべき激甚なることは說かずもがなである。其他先づ不規則の生活は直に神經衰弱に陷る。結核其他の疾病に犯される機會が多い。遂には不妊性になる。死亡率が高い。廢業後に於ても天壽を全うする事が出來ないといふ風に擧げ來ればいくらもあらう。そして夫が要するに年期の長短と正比例する事は申す迄もない。

（五）娼妓の年限を永くすることは、彼等を一生涯娼妓たらしむることである。罪惡の淵、地獄の底より浮ぶ瀨なからしむる事である。正業に就かしめる眞人間に返ることを得ざらしむるものである、否生命をすら奪ふものである。是非共娼妓の許可年限を短縮せなくてはならぬ。

（十三）

第十　見習娼妓（かむろ）を廢めること。

怪しからぬ名目もあつたものだ。見習娼妓とは何であるか年端も行かぬ娘兒を、娼妓の側に於て、之に淫賣學を敎へるのである、世にもこれ程不都合な事があつたものではない。それにも拘らず、當局者の見習娼妓を見る平然たるものである。先日も吉原の某見習娼妓が所轄警察に飛込んで廢業を願出づると、樓主を呼び出した、すると借金があつた、そこで警察署長は見習娼妓に說諭をして樓主に引渡したといふ。現在娼妓にあらざるものを、娼妓となるべく說諭をして樓主に引渡すとは何たる奇怪なことであるか。

所詮貸座敷だの娼妓だのといふ社會に、道德の觀念がある筈はないけれども、これは亦餘りに淺ましい限りではないか、見習娼妓などゝいふものは斷じて許してはならぬ。

（十四）

第十一　娼妓に敎育を施すこと。

敎育の二つの意味、智育德育ともに必要である。今の娼妓は大抵無智文盲の者である、無智文盲の親に生れた無智文盲の子供だから、世の惡漢に拐かされて遊廓に身を沈むるといふ事にもなるのである。そして醜業の醜事たることをも解しないのである。

先づ第一に讀み書きの道を敎へなければならぬ、自分の經驗によれば一字も知らない處の娼妓を一ケ月敎育すれば年が行つてゐるだけにすぐ覺えて一ケ月の後には、どうなり斯うなり言文一致の手紙位は書けるやうになるのである。今の處では樓主は字でも敎へることは矢張り危險なことゝ心得てゐる、要するに出來得る限り愚にして、字も讀めず、世間の事が分らず、法律の精神も辨へずしておいて、唯金儲けの器具に使つてゐる樣な狀態である。

第二に德育である、之は智育よりも大切なことは申す迄もない。何が故に監獄に敎誨師を置くか、一人にても惡人が善人になるやうにとの目的ではないか、然るに惡德の種類も多いけれども、婦人にとつて最も大なる惡德は貞操の道を紊ることである。古より貞操を以て生命としてゐる位である、其婦人の生命とも謂ひつべき婦人の貞操を過つて傷けたといふだけでも社會は擯斥するぢやないか、過つた處ぢやない、いや傷くるの傷けないのぢやない、それを商賣道具としてゐる樣なものは實に唾棄す可きである。擯斥すべきだけそれ丈け罪惡とせねばならぬ。何故其罪惡の中に沈んでゐる婦人が善

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

良なる婦人となるやうに敎へ導くといふ方法を設けないか。

昔熊野の山中に親を殺した親殺人があつた、處がそれを白洲に引出して、係官が取調をすると、『親を殺したか』『殺した』と至つて平氣で居る、『それは怪しからぬ大罪ではないか』と云へば其親殺人が『自分の親を自分で殺すに何の罪があらうか』と答へたといふ。時の大名之を聞いて大に憫れみ、こは敎へざるの罪であると云つて毎日仁義道德を敎へたといふ話がある。親を殺して居り乍ら是れが惡い事だといふ事をすら知らないのである、不憫な者ではないか。同樣に婦人として其生命とも謂ふ可き貞操を傷くる、ではない弄ぶ、ではない商賣として居り乍ら、なぜさういふ恥しい罪惡を犯すかといへば、彼等は大威張りで『自分の物で自分が商賣するに何が惡い事がありますか、又私共は鑑札をとつて稅金を納めてやつて居るのです、惡い事をしてゐるんぢやありません』と大威張りで辯解する。知らざるの罪である、實に不憫な者ではないか。彼等の所業は惡をなさんとの意志より出て惡をなしてゐるのではない、故に敎へなくてはならぬ。充分に道德的敎育を施さねばならぬ。今日は修養々々といふ聲が高く、普通の婦人の間にもさうした會合が大分催されてゐる。普通の婦人にさへ必要だとするならば、況んや彼等の間にこれ程必要なものはない筈である。

私の考では一週一回、法話會なり修養會なりを開かせなくてはならぬ。さうしてそれには最も強く貞操の重んずべき事を敎へて、一日も早く其商賣を止めるやうに奬勵せなければならぬ。尤も法話會といふのは現に開かれないでもない、けれども多くの法話會に於て說かるゝ處は、彼等をしてなるたけ忠實に稼ぐ樣に、言ひ換へればなるたけ多くの罪惡を犯すやうに勸めてゐるといふ事である。飛んでもない話である、さういふ法話會は、無きの勝れるに如かずである。自分の考では救世軍の士官などを囑託講師に聘して一週一度の修養會を開くがいゝと思ふ。

今の政府は既に宗敎の力を認め、宗敎家の集會など催してゐる。斯くの如く宗敎の力を認め乍ら何故この罪惡に充ちてゐる處に宗敎の力を活動せしめないであらう。當局者は充分に門戸を開いて宗敎家の活動を自由自在ならしめなくてはならぬ。而して彼等を眞面目な生活に救ひ上げねばならぬ。

（十五）

第十二　養女制度を嚴禁すること。

これが又甚だ不都合なことになつてゐる。江原先生などの廢娼論の理由は「親たるものが其親の權力を以て其子に不道德を強ふるといふ事のあるまじきこと」といふ點に殊に力を入れてをらるゝ。假令親であらうとも子供に泥棒を強ふることは出來ない、それと同樣に親が其子女に淫行を強ふるといふ不都合なことはない。然るに今日の實際を見れば貸座敷の間にも、藝妓業者の間にも隨分藝娼妓を自分の養女にして、一方に自由廢業の出來ぬやうなからくりにして、其親權を以て子女に淫賣を強ひてゐるのである。

自由廢業の門が開けて居り乍ら、此貸座敷若くは藝妓屋の養女が其所謂子供を養女にすることを許されてゐる爲に、茲に彼等の自由が二重の束縛を受くるといふとになつてゐる。或は戸籍吏の方では淫行を強ゆる目的の爲に養女にするので

はない、他の目的だといふであらう。それに相違ないであらうが、さうであるとするならば、若し親權の濫用を以て其子に不道德を強ひたといふ事實があるなら直に養女の事實を取消すことが出來るやうにせねばならぬ。或人はそれが出來るぢやないかといふ、なる程非常なる手數をかけて裁判沙汰にすれば出來るのである、けれどもさうした面倒な手數をかける迄もなくさういふ事實が擧つたら、直に養女の籍を除く樣に手數を簡略にせねばならぬ。斯ういふ分り切つた事のために裁判迄起さねばならぬ狀態に置くべきではない。

養女に對して淫行を勸めたる親は、直に其親權を喪失するやうにすること、之が我等の主張の第十一點である。

(十六)

第十二　人身賣買を絕對的に禁止すること。

我國に於ては此事は千三百年の昔から定まりきつた事である。天武帝の朝に下野に飢饉があつてどうしても飢死の外仕方がないので、その子女を賣つて職を求めてもいゝかといふ伺書を時の朝廷に出したら、斷じてそれはあるまじき事だといふことであつた。親が愈々飢死せんとしてゐるやうな場合にも、人身賣買は禁ぜられて居つた。而もそれが千五百年の昔である。世は大正の時代となり、二十世紀文明の今日、千五百年の昔の政治家すらも許さなかつたことを許して平氣で居るといふことは、文明の賊といはうか、國家の恥辱といはうか、大なる人道の敵といはねばならぬ。

（一）　滿洲邊では四五歲の子供を籠の中に入れ人參や午蒡を賣るやう賣り步いてゐる。さういふ態を見る時に支那が如何に野蠻な國かといふことを思はせるのである。其野蠻な狀態が滿洲の山奧ばかりでなくて、東洋の君子國と誇り東洋一の文明と自任してゐる日本に於て、滿洲人がやるよりももつと〳〵慘酷な方法に於て人身の賣買が行はれて居るのである。孤兒院經營者の話を聞くに、孤兒院に來る娘にして容貌の美しいやうなのは殆んどないさうである。どうした譯かと聞いたら、容緻のいゝ娘は誰でも養ひ人があるといふ事である、それは養つておいて後から藝娼妓に賣つて金儲にする爲だと聞いたのであつた。丁度鯉や金魚を飼つてそれを金儲の用にするやうな具合である、彼等にとつて娘は人間でなくて商品である。斯ういふ樣な事實を、いつ迄我々は見過しにして置くべきであらうか、絕對的に人身賣買を禁止しなくつてはならぬ。

（二）　又當業者に取ても決して人身賣買の禁止は打擊でない寧ろ彼等の望む處である、唯世間一般が斯うなつてゐるから止むを得ずやつてゐるまでゞある。嘗て自分が會見した一樓主がいふに今のせち辛い世の中に千圓千五百圓といふ金を一人の子供にいれて、そして自由廢業をやられたり、或は病氣をされたり、或は死んでしまはれたりする。たつた一人を失ふことによつて莫大なる損失をせなければならぬことになるから、此商賣も實は堪つたものでない、若し貴下方のお說の通り、當局者が人身賣買といふこと、即ち娼妓の身の上に前借をなすといふことを絕對的に禁じて頂いて、私共は唯ほんとうの貸座敷の業を守り、娼妓はお客を迎へて私共の部屋の一つを借りて、そこで彼等の商賣を營み、私共は其貸賃を取るといふのなら、今のやうな遣り口よりも數等も割のいゝ

仕事にもなつて來ます、と云つた。勿論這麼ことを我々が何も眞面目腐つて考へる必要はない。當業者の爲に利益であらうとあるまいとそんなことに關係はない事。如何なる損害を當業者に與ふるとするも、如斯非人道の行爲は斷然改めなければならぬ事ではあるけれど、假りに一歩を讓つて當業者の利益といふ事を考へてやつても、尙且つ人身賣買の禁止を望むといふ。吾人は當局者が斷乎として之を嚴禁せんことを要求するものである。

(十七)

(三) 此點に於て今一つの事を附け加へなければならぬ。米國が人道の名によつて奴隸廢止問題を起し、而も南北戰爭迄して之が解決に骨を折つた事は何人も熟知する處である。今日に於ては『奴隸賣買』の名は直に文明國人を震慄せしむる程である。ところが何ぞ知らん公娼制度を是認する日本國民は、其實奴隸制度より一層耻づべき公娼を有つてゐる國民である。奴隸は其人格を無視し、自由を束縛して牛馬の如く取扱はれ賣買せらるゝ點を愧づ可く惜むべきことであるとするのであるが、其強要せらるゝ處のものは勞働である、農作である、農作そのものは少くも卑しむべき所はない。然るに我公娼は、其人格を認めず、自由を拘束して牛馬の如く虐待し賣買せらるゝ點に於て等しく奴隸であるから、唯此點のみにても米國の如く人道の名によつて鬪ふ可き充分の理由があるのに、かてゝ加へて其爲す所は何であるかといふと淫行であるのだ、奴隸的農作と奴隸的淫行と、孰れが最も卑むべきか、奴隸たることは二者一樣であるが、一は普通の生產的作業で、一は人倫の破壞的作業である。諸君果して如何の感かある。

(十八)

第十四　社會公共の利器に與からしめざること。

電話、水道、電燈など公共の利器に彼等をして與からしむる必要もない。殊に、電話の如き、番號一つの間違で宮內省にかゝつて行くやら、宮樣にかゝつて行くやら分らないやうなものを、彼等の自由に扱はせて置くといふのは危險千萬である。又さすがに心ある人は貸坐敷と軒を並べる事は嫌ふのであるが、遞信省の電話帳を見ると、立派な紳士と貸坐敷と肩を並べ軒を連ねて居る。不快な事であり又不體裁極まつた事ではないか。又彼等は不善良なる業者として隔離しておき乍ら、自由自在に良家と交涉し得るやうにしておくは矛盾である。又夫が妻君を側において子供か親の前で甚だしきは子の前で親が、娼妓に呼び出され、不品行の交涉談判迄自由に開けるやうに、さうまで、社會は彼等に利便を與へねばならぬ筈であらうか。彼等は社會の暗黑面の要求に應ずるのが目的である以上は、彼等自身暗黑の間に置かれても不平はあるまじき筈である。

(十九)

第十五　稅金を改めて罰金とすること。

國家が貞操を賣買する行爲を一の營業と認可するといふ事は實に奇怪千萬なことだ。之は決して國家の認可す可き性質のものでないといふのが我徒の主張であるが、營業なればこ

そ無智の女をして『政府から鑑札を貰つて行つてるんです』といはしめるのである。税金を徴し、國家が彼等の營業を保護するといふことは實に飛んでもない間違である、決して彼等から税金を取つてはならぬ。けれども一體不良民といふものは、良民よりも國家に手數を煩はすものであるから、其入費を出させることは差支ない、唯それ等は税金として徴收せずして罰金として徴收するがいゝ。斯くしてこそ始めて國家の罪惡に對する嚴粛なる態度に矛盾がなくなるのである。

又『此罰金は普通の罰金と違ひ、罰金を取ると同時に其商賣を差止めなくともよい、重ね〳〵罰金を取るがよい、そして此罰金の效力を一箇月位にして置いて、其期限を過ぎると又取るのである、斯うすれば罰金刑の理論とは少し違ふやうであるが、遊廓といふ不思議な地を設け、娼妓といふ不倫極まる者を置く位の日本であるから此位の不都合は忍んでよからう、そして又其取締法を一層嚴重にして、娼妓から取るばかりでなく、貸座敷の主人からも無論取る、家主からも取る地主からも取るがいゝ』とは服部代議士の説である。

全體國家の税といふものは、國民の負擔すべき者である。若しも不良民にも國費を負擔させるとなれば、義務の伴ふ處權利も伴つて、不良民にも國政に容喙するの權を與へねばならぬ。そこで、遊廓の樓主が町長になり、市會議員になり縣會議員になり、國會議員になつたりするといふのは、誠に恥辱千萬な話である。

（二十）

第十六　醜業者の公權を剝奪すること。

寺尾法學博士は全然彼等醜業者より公民權を剝奪すべしと主張せらるゝ。而かも税金制度は現在のまゝにして置いても公權は剝奪せよとの議論である。博士の説によれば、税金は必ずしも公民權を伴ひ來るものではないとの主張である。醜業を營む者に公權を與へ、普通良民と何等異る事がないといふやうな奇怪千萬なことを奇怪とも何とも思はず、自分も平氣人も平氣で居るといふやうな事があるべきでない、速に公民權を剝奪せねばならぬ。而してそれを實行するには寺尾博士の説の通りでもよいが、若しそれに議論が生ずる恐れありとすれば、彼等の今日迄の課税を罰金制度に改め、彼等の商賣をば營業と認めずして犯罪行爲と見做し、犯罪者なるが故に從つて不良民として之を取扱ひ、國家の政治は勿論、凡て世上公けの事には少しも指を染めることの出來ぬやうにするがよいと思ふ。

（二十一）

以上の十六項は、現在の公娼制度を此儘維持して置き乍ら實行し得可き改革の要項である、當局者が之を實行しやうとするならば直に實行せられ得べき事のみである。而して遊廓の目的はこれ丈の條件を施した處で差支はない、檢梅も出來れば性慾の滿足も出來る。公娼制度の根本的撤廢が暫く困難なりといふならば、少くとも以上の事を實行して貰はねばならぬ。恐らく之には一人も反對のない事であらうと思ふ。

尚比較的理想論としての廢娼論（醜業公認制度廢止）及び、理想論としての廢娼論（貞潔道德の高潮）は更に稿を更めて讀者に諮ゆるであらう。

Digitized by Google　　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

廢娼の實行力

廣岡淺子

今日、矯風會と廓淸會との催しによつて、廢娼演說會があるといふことで、林歌子様より是非出て何か意見を述べよとの事でございました。けれども私はまださう勉强して居りませんから一應お斷り致しましたが、兎に角出席して、何でもいゝから自分の意見を述べるやうにとの强ひての御希望でありましたから、遂にお引受いたし、『廢娼論の實行力』と題し、聊か私の所感を述べて見たいと思ひます。

△男子の不品行と女子の生活

先刻來前辯士の方々によつて說かれた事でありますが、一體此問題は最も明白な問題であらうかと思ひます。善か惡かと云へば申す迄もなく惡でございます。一等國として我國のなす可からざる事をなし、忌むべき恥づ可き事が許されてゐるといふことは、喋々を待たない事だと存じます。

今日の藝娼妓の跋扈は如何でありませう、また一等國たる我日本帝國の中流以上の御家庭は如何なる狀態でありませうか、實に赧然たるものが無いでせうか、外は堂々たる石造の塀を廻らし、內は庭園に春秋の美を盡して居りましても、其中には果して如何なる家庭が形成せられて居るでありませう、世の多くの奥様方、身には寶石を鏤ばめ綺羅を飾つて居り乍ら、一度其內部の精神生活に衝き入つて見ますれば、其表面の賑々しさに引換へ、そこには暗い影があり、深い哀愁があり、堪へ難い寂寞があり、遣瀨なき煩悶があるのです、そして顏は靑褪め、氣力は衰へ、あるに甲斐なき氣の毒な生涯を送つて居られる方が、如何に多い事でありませう。

それは何の爲でありますか、男女間の不貞潔であります、もう一歩進めて云へば、家庭に愛情が漲つてゐないからであります、人間生活の中心を把持して居ないからです。如何に飽食暖衣を以てしましても、衷心の苦惱を如何ともすることが出來ません、如何に現實の快樂を追求しましても心靈の寂寞を如何ともすることが出來ません。男子が唯折花攀柳、痴蝶狂蜂の態を盡してゐる間は、夫人のヒステリーは募るばかりであります。斯うした家庭からどうして立派な國民が得られませう、多くの男子は實に婦人の生命を奪ひつゝあるのであります、頭に及物を擬するのではありませぬが、自分の不行跡を以て婦人を嬲り殺しにしつゝあるのでございます。

△實行力は宗教に俟たねばならぬ

それならば、今日の腐敗したる憫れむべき家庭を救ひ、此墮落したる社會を淸むる實行力は何處にあるでありませう。今日の政治家も富豪も皆道理は解つて居るのでございます、決して知らない筈はありません、知つて居り乍ら實行しない實行する處の「力」がないのであります。肉體の情慾を制する

『力』を有つて居ないのであります。然らば知つて之を行ふ所謂實行力は何處にあるかと申しますと、私は之に答へて『完全なる宗教の力』に依ると斷言する外はないと信ずるものでございます。

完全なる宗教の力と申しますのは卽ち信仰と道德と相伴ふてゐる處の宗教の力によるといふのであります。由來日本には色々の宗教が這入つて居ります、併し遺憾な事には、其宗教には道德といふものが少いやうであります。中には宗教家の身を以て善男善女が渴仰喜捨した淨財にて、柳暗花明の巷に出入し、賤妓を擁して自ら得たりとするやうな者が果して無いでしやうか、今度の『廓清』に高島米峰氏のものされたる一文を拜見しましたがあれによつても私共は、宗教家ともあらう者が、一般社會と共に墮落の渦中に沒了し、衆愚をして之が顰に倣はしむるものあるに至つては、痛恨の淚を禁じ得ないのであります。斯ういふ宗教には決して命がありません、道德の實行力がないのであります。

△崇高なる基督の貞操觀

私は永い間宗教といふものを知らずに來ました、六十一年の間といふもの無宗教で、世の中を渡つて參りました。處が此頃宗教心を起しまして三年間基督教を研究致しました結果、一昨年の冬洗禮を受けまして、基督の奴婢となりました。私は自分乍ら基督敎の道德的實行力の如何に偉大なる力を有つてゐるかといふ事を實驗致したのでございます。イエス、キリストは馬太傳五章二十七節に於て斯樣に仰せられてゐる。

古への人に告て姦淫すること勿と言ることあるは爾曹が聞し所なり、然ど我なんぢらに告ん、凡そ婦を見て色情を起す者は中心すでに姦淫したる也。もし右の眼なんぢを罪に陷さば抉出して之を棄よ、蓋五體の一を失ふは全身を地獄に投入らるゝよりは勝れり、もし右の手なんぢを罪に陷さば之を斷て棄よ蓋五體の一を失ふは全身を地獄に投入らるゝよりは勝れり

男が女を見、若くば女が男を見て色情を起したら、それが既に汚いものだ、不都合のものだと仰せられたのでございます。實に崇高なる見識と申さねばなりませぬ。

私は此の淸い宗教を、我國の上流社會に宣傳することの出來ないのを甚遺憾に思ひます。併しまた、斯樣な淸い宗教であればこそ我國の上流社會に這入る事の出來ないのであります。基督教は姑息なる調和を排斥するものでございます、若しキリスト教より一夫一婦の制度を拔きに致しますれば、基督教の傳播は非常に迅速に行く事は明かな事であります、嘗て伊藤公が「若し一夫一婦といふやうな事を云はなければ自分も基督教徒になるんだが」と申されましたさうでありますけれども基督教は其麼人の要求に應ずる事は出來ませぬそこに基督教の力がございます、權威があるのでございます

△先づ聖化される事である

御承知の通り基督教徒の家庭は、實に純潔なものでございます。試みに御覽なさい、廓清會や矯風會のやうな純潔なる運動を社會になすものは、基督教徒の外にはないではありませぬか。天の神を父として信じ、善と惡との區別の截然と分る宗教に非ずしては、實行力といふものは伴ひませぬ。

私は藝娼妓の問題を解決するものは、基督敎の外にはないと思ひます。神を信じ、天父と合一し、自分自身が聖化せられたる處の人間になるといふ事が第一であります。私は不肖

ながら天父を知り、聖靈に充たされたる經驗を有つて居りますが、實に何とも云へない嚴なものでございます、又美しいものであります。或は然らば坐禪でも何でもして神と自分と合致さへするならば、敢て基督教によらなくてもいゝではないかと、仰せられます方がおありになるかも知れませぬ。ですけれども神は見る事の出來ない聞く事の出來ない神であります、此の見へざる神に接することは、中補者キリストを通さなければ出來ないのでございます。崇高至上のキリスト、慈愛限りなきイエスによつて、始めて天の父と合一する事が出來るのでございます。

私は近頃、天の父を知りまして以來、日一日と自分の罪惡に對する意識が甚鋭敏になつて參りました事を喜んでゐるものでございます。私は罪の自覺を有する人に非ざれば眞の向上進歩といふ事はない、と信じて居ります。私はどうか總べての人とか、己れの罪を自覺し、日々に靈を磨き、正しき信仰を起されむことを希望いたします、此信仰が起れば、六ケ敷廢娼問題も何かあらん、直に解決が出來るので御座います(文責記者にあり)

我等が姉妹を救へ

基督教婦人矯風會副會頭　本多貞子

○

私に一人の妹があります、十七八の頃から家を飛出して、香港、瓜哇、新嘉坡兒、さては亞米利加の內地邊りまで出掛け、諸所方々に彷徨ふてゐるので御座います。

私はこの不都合をして、世界を彷徨ふてゐる妹のことを。一日も忘るゝ事が出來ませぬ。故郷遠く離れて居ることであります、身を煌くやうな太陽が、今や荒野の果てに沈まんとする寂しい秋の夕間暮、どんなにか故郷戀しくなるでござゐませう。嗚呼歸りたい〳〵と故郷を慕ふ思ひは胸も張り裂けむばかりでありましても、彼女は自由に歸ることが出來ないのであります。或時はまた町を歩いて賑かな通りに出會すことがありませう、そしてあゝほんに大阪の心齋指通りが……と思ひ出されるでございませう「弱き者よ汝の名は女」とや、見るもの聞くもの一として追憶の涙、思ひ出の種ならぬはないでありませう。

若し金があつたなら、自由があつたなら、腕に翼のありもせば、飛んでも歸りたいと歎いてゐるでありませう、けれども怖しき魔の手から脫がれ出でんすべはないのであります。半夜人定まつて、枕を咬へて忍び泣きに泣き明すことは每夜のことでありませう。

○

斯うして妹は、恥づ可き極みを强ひられ、人から卑しめられ、嘲られ、蹂躪られてゐるのであります。どうしてまあ這麼境遇に陷つたかと申せば、それには之れを導いて穽深く陷

れた、怖しき魔の手があるのでございます。私は其の魔の手を怨めしく思はずには居られません。

東洋の君子國、仁義は武士道の基でございませう、私は妹を救ふのに甚だ力足らぬものでございます、勇侠を以て誇る我日本國の男子の方に訴へんとするのは此點にあるのでございます、皆様どうか他國に漂泊へる私の妹を救ふて下さるお考はないでしやうか、妹と申しますのは血を分けたものではありませんけれども、やはり私共の姉妹であります、五千萬同胞の姉妹でございます、等しく　天皇陛下の赤子でござゐます、皆様の姉妹であります。

○

その私共の姉妹は、たゞ世界各所に漂泊ふて苦しんでゐるばかりではありません、随分種々な方面に於て日本國の體面を傷けつゝあるのでございます。其結果、米國に於いて排日問題の一因ともなつてゐると承知致して居ります。日本國民が外國人から侮り嫌はれますのは、決して單純な勞働問題ではなく、實に恥しい事を恥しいとも思はず、不道德なことをして顧みないといふ其事實が、人々に憎惡せられる原因となつてゐるのであります。

さうしてそれが外の者ではない、私の妹であります、皆さまの妹であります。どうか皆さまが、殊に強い男子の方々が妹の手を捕へて引廻はしてゐる惡魔を退治するために、廓清會に御加盟下され、御盡力下さる事は出來ますまいか、切に御願する次第であります。（文責記者にあり）

入會の勸め

（一）本會の目的　は男女間に貞潔の德操を進め、社會の風紀を廓清し、家庭の幸福を増進するにあり。而して公娼制度は、此目的に反する惡制度なるが故に、之が全廢を期す。

（二）會員の種類　會員に左の二種あり。

一、賛助會員　本會の維持費として、毎月一口（金二十五錢）以上を出資するもの。

一、正會員　毎月金五錢を納むるもの。

（三）機關雜誌　會員には本會發行の機關雜誌「廓清」を毎號無代にて配付す。

（四）入會の心得　本會の趣旨を賛成するものは男女を問はず何人を問はず入會することを得、入會希望者は左の書式により申込まる可し、但し賛助會員は必ず口數を明記せらるゝこと。

（五）會費の納入　本支部員の會費は、すべて本支部に於て取扱ふ。

廓清會大阪支部
大阪市北區中之島六丁目六番地

（書式）

入會申込書

現住所
姓名

貴會ノ主旨ニ賛成シ賛助會員／正會員ニ入會申込候也

大正　年　月　日

廓清會大阪支部御中

神の導きと我等の希願

婦人矯風會大阪支部長
博愛社理事　林　歌　子

特別大阪號發刊に當り、婦人矯風會當初より今日迄の、神の導きと、其場合に應じたる働きの大要を述べて、其希願を披瀝致します。

△公娼問題につき

婦人矯風會の三綱領とも申しませうか、一夫一婦と、禁酒禁煙は、社會に向つて專ら主唱致す處の三條件であります。婦人矯風會大阪支部が呱々の聲を揚げましたは、明治三十二年五月廿八日でありますが、矯風會の第一に着眼致して大阪市のために働きを企てましたのは、市內に散在する遊廓を纏めて、何處か邊鄙なる場所に移してほしいといふ大希望であります。時々に遊廓移轉論といふ題の下に公開演說を開き、或時は五百餘名の連署を以て願書を呈出致した事もありました。十年間斷えず時々開く演說會は常に此問題に心を寄せ、明治三十六年大阪大博覽會の時にも、知名の辯士を聘して大演說會を開催致しました。

△北新地の全燒

明治四十二年七月三十一日、忘れ難き大阪北區の大火に曾根崎新地を燒拂ひました。されば今こそ私共の宿願たる移轉實行の時期と、起つて當局に迫り、輿論を惹起し、滿天下に訴へて同情を求め、遠くは小笠原島、滿洲、臺灣よりも援助を送られぬ。演說會は每會滿場立錐の餘地なき盛會にて、青年有志は一枚摺に「遊廓移轉に賛成」といふ文句に署名を求め三萬餘名の同志を得て、後に五束小包として內務省へ送りました。此間連戰四十日晝夜を分たず、一方は罹災民の救助に一方は風教問題と戰ひ。宛も仍と念珠とを兩手に携へたる姿でありましたが、四十日後、九月十日の府令にて曾根崎新地の廢止といふ事になりました。藝妓は矢張り同地に殘れば、事實に於て如何との懸念はあれども、兎も角、此機に一遊廓を廢されし當局の英斷に、無限の感謝を捧げました。

△難波新地乙部の大火

曾根崎新地の大火後滿二年を經たる、明治四十五年の一月十六日の拂曉に、南區の大火に驚きたるに、難波新地乙部は只一軒を殘せしのみにて烏有に歸せしかば、復び起ちて市內基督教會々員は男女相分れて一方は慰問隊を組織し、市の吏員と共に罹災者の慰問に從ひ、燒け出されの氣の毒なる家族が、今息を引取りましたといふ小兒を抱きて、淚にくれ居るといふ樣な處へも行きて、親切なる同情を送り、幾分たりとも市民として應急の働きをなし得たりし事を感謝し。一方は難波新地再興反對といふ聲言を致して數回大演說會を催し、幸ひ萬國廢娼同盟會派遣のグレゴリー氏來りて、親しく公娼

廢止の實例を以て愬に導かれました。二十日間の奮闘後に難波新地乙部遊廓廢止の府令に接しました。

△吉原の大火と廓清會の誕生

明治四十四年四月九日、東京吉原大火の報に驚きましたが基督教青年會、救世軍は、婦人矯風會と力を協せて、之が再興に反對し、演說會、同志の糾合等あらん限りを盡されしも吉原は從前の如くに再興されました。同志は其善後策に付きて協議を凝らし、一時的の働きならで、固き根據を据ゑ、文筆にて其使命を盡さんと、同年六月を以て「廓清」誕生致しました。廓清は公娼廢止、男女貞操問題に付きて專ら力を盡す同志の機關なれば、日本婦人矯風會矢島會頭は、葬式の費用にとて用意の金を保證金に提供され、救世軍山室大佐は燃ゆる熱心を紙上に吐露せられ、多年廢娼問題に力を盡さるゝ島田三郎氏を會長に推し、安部磯雄氏は明確なる議論を以て導かれ、大隈伯と森村市左衛門氏を顧問に戴き、此問題に向つて同志の一團を作り、理事の益富氏は勿論早稻田の教授其他の有志の筆を執らるゝ方は總て献身的に、報酬としては唯天に對し國に對して、幾分たりとも微力を捧ぐるを得たりとの良心の喜びより外なし、汎く主義を及ぼす考なれば、各府縣の知事並に警察部長、遊廓事務所等へは夫れ〴〵進呈致します。

△大阪の廓清會支部

難波新地大火の際には、廓清會本部よりとして應援に來られ、生れて只七ケ月の嬰兒「廓清」の初陣は大阪でありましたが、時の池上警察部長等も「廓清をいつも讀みます」と云はれ

ました事を伺つた時には、實に喜びました。演說會の席上會員を募集致しましたが、二百人出來ましたので、其後餠手を分ちて委員四十名が、各二十名宛の新入會員を得て、千人募集の望を達しました。廓清は一部五錢にて、實費にもどうかと思ふ位でありますれば、特別の同情者を求め、一口二十五錢年三圓(以上)の賛助會員を求め、中には月に一圓宛又五十錢宛とか、其他廣告を以て援助を與へらるゝ方々のありますので、本部へ每月六十圓宛を送りまして、どうぞ筆現健かに其使命を果す樣にと、熱心に祈ります。現在大阪に百餘名の賛助會員を有するは、實に感謝に堪へざる事であります。

△刄物を子供に示すな

公娼問題程我國の識者に忘れられたるものなし、窃盜を公許し、賭博を公許する國民あらばいかに。公娼を許可し、而も營業と見做して大厦高樓を堂々と市內に構へて、兒童青年の眼に示すとは何たる恐しき事ぞや。

中學生位の年齡にも達せば、兩親又學校長が遊廓地を踏ましめぬ樣に、市岡中學校等にて非常に苦心せらるゝは當然なり、大阪市の如き煤煙の多き處は、たとへ一家を如何に掃除をなすも、煤煙は戶の隙間より空氣に混じて侵入するものであります。風俗を壞亂する賣淫の公許地を市內に散亂することは、子女の將來を思ふ親として、子弟の教育者として、等閑に附すべからず、多年の惡習慣が如何に人心を痲痺させ、淫風を燃ならしむるかに思へば眞に慄然たるものがある。私共は一日も早く公娼存置の苦痛から免れねばなりませぬ。而して子供に刄物を示すの危險より免れねばなりませぬ。

Digitized by Google

Original from COLUMBIA UNIVERSITY

十一月三日開催したる 特別大運動の報告

本年五月、林大阪矯風會支部長並に緒方夫人上京、早稻田伯を訪問の節、伯は來る秋大阪に行く豫定なれば其節一場の講話をなさんと云はれしかば其期を待ちたりしに、八九月の頃より、市の南部阿野邊に飛田遊廓を新設せんと目論む策士のあることを耳にし、絶對に公娼全廢を首唱する我儕は此際大演說會を開催して廓淸の空氣を大阪全市に漲らせんと臨時總會を開きて、大隈伯來阪を機として大演說會を開く費用として金五百圓を募集する事を決議なし、大阪西洋婦人會員にも謀り、諸教會分擔の豫定額を定めて、各教會の委員は夫れ〴〵募金に盡力し又會員心を協せて熱心に祈り、當日の集會の上に神の祝福を求めたり。

▲矯風演說會

最初は伯の御話を午後に望みたりしも伯の御滯在日數少く午後は師團に行かるる由にて午前といふ事になりしかば場所を基督教青年會館に定めたり。

矢島會頭並に本多夫人は一日の夕に着阪せられ、ウヰルミナ女學校モルガン校長の厚意にて、同校同窓會の新築同窓館を開放されて兩女史と同宿せられ、靜なる淸潔なる家に溫き歡待を受けられたり。

山室大佐は當日の朝梅田へ著かれて休息の暇なく會場へ入られ、同夜又急行にて歸京せらる。

午前九時半に奏樂を以て開會、馬場夫人の詩篇百四十六篇の朗讀、本多夫人の祈禱、司會林歌子女史の開會の辭に次ぎて熱烈なる山室大佐の薄命婦人の題にて演せらるゝと御話し中に伯は自働車にて來られ、從者に扶けられて壇上に立たれ一夫一婦の題にて大に婦人問題を說かれ矢島揖子女史は內務省への陳情書を本多夫人に代りて朗讀なさしめ、午前の集會終るや豫て用意なしたる倶樂部の上下に陳取りて會食なしたるは百二十三人、兼て用意したる百人分にて足らず、席も足らず、食器も足らず、元氣よく男女教役者並に有志信徒百二十三人食を共にし、青年會名譽主事グリースン教師並に佐島氏大に斡旋の勞を取られたり。

▲懇談會

午後一時より開き青年會館の中央に椅子を圓く並べて、初め三十分間、馬場牧師祈禱會を司り、熱心なる祈禱は天父の御前に捧げられ、次で益富政助氏、山室大佐、本多夫人、矢島會頭など續々打寛ぎたる有益なる話あり列席の方々へ、昨年難波新地大火の際、募集なしたる一千名の會員、或は轉居、或は退會、種々の變動にて多少會員減じたれば今年中に皆責任を以て新入會員を募られんことを御賴みいたしたり。

▲廢娼演說會

午後六時半より、再び演說會を開き今日は實に三回の集會を持ち、矯風會員、廓淸會員、日頃出席の六ケ敷方にも今日は奮つて來會せられ豫想に越したる集會をなし、新入會員、廓淸に、贊助會員四名、正會員八十三名、矯風會へ十三名合計百名ありたり。

尙六日の每日新聞に左の記事あり。

▲築港遊廓說

大阪築港に遊廓設置の件は明治四十三年五月故鶴村佐一郞、本田友衞氏等より建議として市會に提出せ

られ全會一致を以て之を可決し其筋に稟請したるも其後植村前市長等は大阪市の玄關に遊廓を設くるが如きは文明都市の體面上不可なりとて盛に反對論を唱へ之に贊成する者ありしより其儘立消となりしが昨今南區議員中には築港に遊廓を設置せんと計畫するもの起り赤田毯一、下村光之助、沼田嘉一郎の三氏は五日午前市役所に池上市長を訪問して市長の意見を叩けり市長個人の意見として大阪市に遊廓を新設するの必要あるに於ては之を築港に置くことには反對せざるも現存の遊廓を此處に移轉せんとならば營業者の既得權にも關係を及ぼす次第なれば之に贊同するを得ずと云ふにあるもの丶如く築港遊廓說も別段未だ具體的計畫と迄進み居らざるものに似たり。

具體的計畫未だ成らずといふは幸なり、未然に之を撲滅すべしシカも是有菌鼠の現出と同一のみ、放任すれば終に社會を毒するの大傳染を來さん。大隈伯の鼓勵尚耳に新なる婦人矯風會の如き、晴天霹靂に會へるの感なきか。注意せざれば月夜に釜を拔かるゝの憂ひあり。御用心々々々。

特別運動收支決算報告

一金四百三十六圓七十五錢　收入總額

內譯

一金壹圓　米國桑港　大久保音羽子

一金五十八圓　在大阪西洋婦人會員一同

一金六拾貳圓　（委員グリースン夫人）大阪教會（委員 高安季子）

（小別）
各金五圓　淺井やす子　石神八重子　田口たけ子
各金參圓　湯淺千枝子　高木はる子
一參圓廿錢　高安やす子　高安するゑ子
北野組
各金貳圓　村田耕子　宮川つぎ子　志立たき子
小林ゆう子　山川とよ子　吉田きみ子
各金壹圓　深澤ふく子　油谷美枝子　桂よね子
吉田とよ子　森山のぶ子　布施米子
小泉しづ子　結城千代子　高見あさ子
阪村しか子　加藤つな子　佐々あい子
櫻根子　小林はつ子　高木松惠子
一金五拾錢　祇園くら子　石神あい子
一金參拾錢　澤村かず子　菰淵せい子

一金參拾八圓五拾錢　天滿教會（委員 小堀かね子）

（小別）
一金拾圓　緒方吉重子　緒方吉香子
各金貳圓　谷口幸子　堀內重子
江指玉子　青木松子　杉野なる子
今井ゆう子　小堀兼子
各金壹圓　大谷はる子　細合はつ子　菊地梢子
阪本滋子　濱田光子　中村田鶴子
杉野母堂　松岡鈴子　桐原きん子
各金五拾錢　磯野つる子　服部菊重子
仁宮夫人　田村淸子　高井夫人
村上鹿江子　熊森さわ子　木下夫人
藤波岩子　三井りう子　平林夫人

一金拾五圓參拾錢　浪花教會（委員 船橋久子）
島の內教會

一金拾五圓

（小別）
一金拾圓　藤中民子
一金五圓　會員中

一金拾圓　九條教會（委員 瀨成田部子）

一金貳拾壹圓　西教會（委員 淸水朝子）

（小別）
一金參圓　西野さだ子
一金參圓　ウキルミナ女學校有志生徒中
各金貳圓　小島ゑい子　淸水たね子
各金壹圓五拾錢　松本くす子　馬場まつゑ子　淸水朝子
各金壹圓　鳥潟ゑい子　北俊子
岡本きみ子　中村まさ子
各金五拾錢　宇津よね子　增穗たま子
植村ゑい子　和田夫人　貴志こう子

一金貳圓　南教會（委員 加古幸惠子）

一金六圓　天下茶屋教會（委員 野村とく子）

一金六拾六圓五拾五錢　北教會（委員 湯川梅子）

（小別）
一金貳拾圓　藤野露子
一金九圓貳拾錢　山本らく取次
一金五圓　（菊地しな子）（菊地桂子）
一金參圓七拾錢　某夫人

各金貳圓　鈴木やする　新海あい子
吉田とき子　阪本しも子　某　夫人
山口すま子
各金壹圓　渡壁房の子　吉岡いく子
水田愛子　倍時げん子　深尾初野子
山本まり子　菅沼こずゑ　齋藤　忍子
橋本まさ子　奥田ふみ子　宇賀もと子
各金五拾錢　桑田たき子　湯川うめ子
木村すへ子　津村　安子　高木てるえ
曾我部楠松　井上まさ子　島田いよ子
神尾よし子　森田とめ子　八十川ます
一金拾五錢　片山やゑ子
一金四拾圓　川口教會
（委員）並川つる子　吉津するゑ子
（小　別）
一金貳拾圓　大塚　常子
各金貳圓　林　依子　平野あさ子
一金壹圓五拾錢　小山　光子
各金壹圓　高倉　常子　岡田　子
下條しげ子　林　せつ子　岩尾らん子
黑田ひで子　名出いく子　大野　粂子
吉津よね子
一金七拾錢　並川つる子
各金五拾錢　樫內　晰子　有田けい子
佛願うの子　北垣　夫人　中村あさ子
村上きく子　吉津　季子　安場ふさ子
一金參拾錢　永田鶯聲子
各金貳拾五錢　田中　子　杉山　子
一金參拾六圓五拾錢　約翰教會
（委員　山崎　華子）
（小　別）
各金拾圓　楮方千重子　坪井ゆき子
一金參圓　瀨尾梅代子

各金貳圓　豐田　次子　中島房野子
幣原　操子　藪內　政子
各金壹圓　小林まさ子　星野　夫人
山崎　花子　佐藤しづ子
各金五拾錢　中村さだ子　栗山せき子
早川壬生與子
一金貳圓九拾錢　保羅教會
（委員　太田つる子）
一金八圓　救主教會
（委員　竹中たま子）
一金八圓　復活教會
（委員　柴　恭子）
（小　別）
一金參圓　楠本みえ子
各金壹圓　森　まき子　植野とく子
福島りう子　小林とめ子
各金五拾錢　某　夫人　柴　恭子
一金貳圓　城南教會
（委員　佐々木よし子）
（小　別）
各金壹圓　佐々木よし子　藤本滿壽子
一金參圓　西部美以教會
（委員　三浦さき子）
一金五圓　東部美以教會
（委員　辻　米子）
一金貳圓　浪華浸禮教會
（委員　岡原　粂子）
一金拾參圓　贖主教會
（委員　山口ます子）
（小　別）
一金拾圓　林　歌子
一金貳圓　小橋嘉津乃子
一金壹圓　婦人會
一金五圓　下寺町傳道館

（委員　河邊　柳子）
一金壹圓五拾錢　天王寺基督教會
（委員　澤木　京子）
一金壹圓　難波日本基督教會
（委員　岩本　玉子）
一金貳圓五拾錢　御　影　千浦喜代子
一金拾圓　同　岩井　粂子
一金壹圓　住　吉　庄司八重子

一金參百參拾壹圓九拾錢

支出總額

內譯

金貳拾五圓　郵稅並に電報料
金六圓五拾錢　印刷費
金參拾壹圓五拾錢　新聞廣告料
金拾四圓參拾錢　當日費用
金八圓八拾錢　會場費用
金百拾六圓廿九錢　辨士謝禮並に旅費宿泊費一切
金六圓　寫眞代
金五圓　速記料
金拾八圓五拾壹錢　當日辨當代
金百圓　廓淸大阪號二千部增刊費用

差引金百四圓八拾五錢

殘金

殘金は婦人矯風會會計にて保管し婦人ホームの補助幷に會の働きに用ふ。

大阪の社會事業

大阪にはどんな社會事業があるか、慈善的方面はどういふ風に行はれてゐるか、涙の大阪はどういふ樣になつてゐるか、之は決して我々に取つて閑問題ではない、苟も人道を論じ、社會の救濟を說く者の一瞥を惜しむ可きでないのである。誰か政治家、經世家の事といふか、宗教的にも、道德的にも、はた又個人的にも觀なくてはならぬ問題ではないか。

◎大阪博愛社

大阪西成郡神津村に在る同社は明治三十二年故小橋勝之助氏の創立に係り、氏の歿後實弟實之助氏其遺業を襲ひ辛苦經營の餘り今日の盛運を見るに至つた。基督教主義により無告の孤兒幷に貧兒の救濟を目的とし殊に實業教育に重きを置いて居る。

昨年九月より內務省助成金の一部を割いて印刷事業を起し「助成活版部」と名づけ健全なる印刷職工を養成せん目的にて社兒をして親しく其局に當らしめ一般印刷物の注文を受けて居る。現に大阪府廳內救濟事業研究會の機關紙なる「救濟研究」の如きは同社の印刷に掛るものである。同社の成績良好にして前途有望として認められつゝあるは、去る天長節の佳辰に際し大阪府慈惠基金中より壹千參百圓の選奬補助金を受けた事に依つても知られる。

なほ本年五月に至り大阪市弘濟會育兒部の開始と共に、從來市より同社に委託を受けたる兒女の內二十一名は弘濟會の手に引渡し、現在社內にあるものは百三十五名であるが、彼等が盛夏以來培養に丹精を凝したる同社の菊花壇は金賞玉盃蘆欄班として恰かも錦旗の如く、去る天長節幷に其翌兩日を卜して菊花慈善市を開催した、來賓八百名、收入二百圓に達したる由。

因に同社にては昨年より本年の初めにかけ社內に麻疹、百日咳等の流行著しく兒童の健康を害せしと、一つに年中境遇に移動少なき社兒をして盛夏中海濱又は林間に轉地せしむる事の有益なるを感じ、先づ本年は地幽邃に水清冽なる寶塚六面を選んで、幸に寶塚炭酸ホテルの社宅に空家あるを主人ウヰルキンソン氏の好意の許に無代にて借用し、二十五名內外を一團とし二週間交代にて轉地せしめて其效果の多大なるを認めた。

◎愛隣夜學校

博愛社の附屬事業として大阪市北區上福島北三丁目に愛隣夜學校と云ふ貧民夜學校を經營して居る即ち晝間職業に從事し、學業の途なきものゝために設立されたものであるが、この地方に於ける、この種の學校中にて鼻祖とも稱すべきものである。

而して開始以來同校の教育を受け、一丁字なきものにして今や立派に工商業を營めるものが隨分ある。同校に教鞭を執つて居る一教師の如きも其成功者の一人で、已に正教員の檢定に合格したのである。

今回大阪府の選奬補助金七十五圓を拜受した、現在生徒の類別は左の通りである。

徒弟（商業・工業）　男十三名　女十五名
自家の業に手傳へる者　男十九名　女十二名
工場通勤者　男十二名　女四名
下奉公の者　女十名
官衙會社給仕通勤者　男三名

◎大阪弘濟會の保育所創設

同會にては曩に授産、救療、育兒、養老等を第一次の事業として開始したが、今回第二次の事業として目下着手中なるは晝間保育事業である。而して漸次全市の樞要場所に亙りて少くとも七八ケ所を設置する計畫で、差當り貧民部落に接近せる難波警察署長管內に二ケ所、天王寺下寺町附近へ一ケ所、又北區にては天神橋通り長柄墓地附近へ一ケ所、西區朝日橋署管內四貫島附近に一ケ所、都合五ケ所を創設し、一ケ所につき五十名位を定員とし、最初は哺乳兒を除き手足纏ひの滿三歲までの貧兒と三歲以上學齡迄の貧童とを晝間無料にて預り保育に從事する由。

◎聖約翰學園

明治二十二年中故梅田文子女史の創立せられしもの目下約翰教會牧師早川喜四郎氏專ら經營の任に當つて居られる。園兒は四五歲より十六歲までのもの十六名あり內十二名まで已に附近の小學校に通ひ居り殊に床しきは外觀內容丸で純然たる家庭的なる事である

◎愛育社

堺市車の町に在り、明治十九年十一月中井上三登治氏の創設せし處で、孤兒貧兒棄兒を救濟するを目的として居る。重に大阪市よりの委託兒童を收容して居たが、大阪弘濟會の成立と共に委託兒童は同會社へ引渡し、目下僅に十四五名を教養するに過ぎぬ、勞役としては目下社兒をして活版印刷に從事せしめて居る。

◎汎愛扶植會

之は明治卅九年五月加島敏郎氏の創立に成つて一時

は三百名に達する兒童を收容して居たが、中途事業の蹉跌に出遇つた。けれども氏は同時に同會出身の青年團を引卒して朝鮮に移住を試み、間もなく扶植農園を開拓し、目下四十三名の青年と共に鋤鍬を執つて自辨自足の家庭的生活を營んで居り成績頗る良好なりと云ふ、されば大阪市外東成郡生野村なる同會は氏の實弟保雄氏が保育主任として僅かに十四五名の兒童を收容し居るに過ぎざれど、扶植農園の現況は亦以て事業の成功を語るに足ると云ふべきである。

◎有隣及德風尋常小學校

有隣小學校は南區木津川橋北島町にあり、四十四年六月製革王新田長次郎氏の獨力私財を抛ちて設立せるもの、校長は松村誠一郎氏である、德風小學校は南區北高岸町に在り同校は久保田鐵工所主久保田櫂四郎氏の獨力にて四十四年六月中新田氏と兩々對峙して設立せるもの、校長は淺井清太氏である。

これ等二特殊夜學校に於ては彼等救濟保護の目的の下に大に兒童の健康に意を用ゐて居る、去る八月中の如きも兒童中の疾病虛弱者二十名を撰び、南河内郡長野町なる極樂寺境内の一棟を借受け、轉地療養をかねて林間教授をなしたが、其結果肉體上にも精神上にも頗る良好であつたと云ふ。

◎愛染夜學校

岡山孤兒院の附屬事業の一として四十二年七月中開始せるもの、開校以來五百四十五名の不就學兒童に教授し目下、夜々通學の兒童は平均百名に上り修業年限は四ケ年、校長は高塚甲子太郎氏である。

◎清修小學校

四區三軒家上の町に在り四十一年三月の設立にかゝり、修業年限は三ケ年校長は清水義次郎。

◎岩崎夜學校

北區東野田町にあり大正二年四月始めて開校式を擧げたるが、設立者は同所の岩崎吉松氏にて修業年限は六ケ年、最近の調査に依れば生徒の數男女合計六十名に達し漸次其數を增加する有樣である。

◎勝山夜學校

南區天王寺勝山通三丁目に在り育人佐藤重助氏の篤志經營の下に四十二年十月創設、修業年限は六ケ年、校長は室谷弓太郎氏。

◎鳴尾篤志學舍

北區曾根崎町中二丁目に在り四十年一月鳴尾さと子なる一婦人の篤志經營の下に設立されたるもの、校長は林義一郎氏。

◎佛教婦人會の事業

大阪市内に佛教信徒の組織せる二箇の婦人會がある一を淨土宗派の累德婦人會とし、一を曹洞宗派の心華婦人會となす。而してこの二婦人會とも佛陀の本願を遂行せんとする目的の下に二三の事業を爲しつゝあるが、其主なるものは特殊夜學校の設立である。

(一)累德夜學校

南北天王寺大通四丁目に在り、明治卅七年五月奥村得音外四名の淨土宗尼僧の發起の下に組織せる累德婦人會の活動事業の一として設立されたるもので其外誅話會、戰死者の追弔會(毎年一回)等の事業をなしつゝある。

創立の當時は同區勝山通りの假校舍に於て授業し居たりしが、去五月中竹原友三郎氏等有力者の援助の下に一萬二千圓を投じて地所家屋を新たに購入新築し同時に現在府立天王寺師範學校教諭谷馨氏を校長に据ゑ外に教員四名と裁縫教師二名とを以て在籍生徒男百二十、女百五十合計二百七十名内夜々出席者男百〇一、女百三十六計二百三十七名に對して教授しつゝある。

此處へ通學せる兒童は言ふ迄もなく晝間はそれぞれ會社等へ通ひ居るもの耳にて然も其多數は十四五歲に及びて始めて就學するものなるより、在來の五學年にては餘りに長きに亘るの虞れあり、本學期より四學年に短縮せりといふ、試みに生徒の年齡を見るに最長は男四十歲、女十七歲、最少は男八歲、女八歲。有職生徒は男百〇二、女百〇六、計二百八名、無職生徒は男十八、女四十四、計六十二名更に有職生徒の職業別に見れば

(大正二年五月調査)

職業	男	女	計	職業	男	女	計
燐寸	三四	七四	一〇八	奉公	二	三	五
歯ブラシ	一三	九	二二	活版職工	三	—	三
貝釦	一二	二	一四	硝子玉色付	一	二	三
玩具鳥細工	二	三	五	拘屋	三	—	三
綱細工	—	五	五	鍛冶見習	二	—	二
青物商	二	—	二	土屋働き	一	—	一
大工	二	—	二	電氣金具	一	—	一
辨屋	二	—	二	琴駒職	一	—	一
馬糧商	二	—	二	按摩見習	一	—	一
米屋	二	—	二	掃除夫	一	—	一
左官	二	—	二	箕作職	一	—	一

煙管職	二	—	二	莫大小職	一	—	一
織物玩具	一	—	一	飴粕賣	一	—	一
鉄賣手傳	一	—	一	湯屋三助	一	—	一
木材削屑商	一	—	一	ゴム細工	一	—	一
疊職	一	—	一	花簪職	—	一	一
銅屑買	一	—	一	髷職	—	—	一
農業	一	—	一	シャツキ職工	—	一	一
木管職	一	—	一	眼鏡莢職	—	一	一
笛製造手傳	一	—	一	元結製造	—	一	一
專賣局職工	—	一	一				

(二)心華尋常小學校

同校は北區茶屋町に在り、明治四十三年六月曹洞派の婦人の組織せる心華婦人會の活動事業の一として創立したものである、在籍生徒一百八十名、夜々出席するもの百五十名、從來尋常小學校程度の學科を授くる事としてあつたが、昨年四月より新に裁縫專修科を設置して定員二十名の生徒に授業して居る。生徒の年齡を見ろに最長男二十一、女同上、最少男九歳女十歳にて、彼等も亦晝間夫々職業に從事し居るもので ある。最も多きは燐寸職四十一名、最も少きは織物工女の一名である。其他丁稚下女、給仕、女髮結、職工などあらゆる方面に亙つて居る。

◉博愛職工學會

府下東成郡中本村字本莊にある同會は明治三十九年二月相川勝治氏の創立に係る。目的とするところは出獄者を收容し六ケ月以上薰陶し、規律ある生活をなさしめ、之に大理石細工、洋服裁縫等の職業を授け其性行の改まると共に獨立自營の道を立てしめんとするにありて、確かに有益なる社會事業の一つと云ふべきである。

◉婦人ホーム

四十年五月二十八日地久節の佳辰を卜して林歌子氏主唱の下に開設されたもので、目的とするところは婦人の就職紹介をなすにありて、開業以來旣に三千人に及んだ。なほ該事業の傍、良家婦女子の監督を委託され爲に寄宿舍の設けもある、最近にては數會或は女學校其他茶花裁縫師匠の許に通ふ婦女十三名ある由、所在地は北區中島六丁目、主任者は林依子氏である。

◉大阪職業紹介所

明治四十五年六月實業家岡島千代造氏外數名の有志により設立されたるもので、其目的は保護救濟する爲に諸般の職業及勞働を紹介し、且寄宿舍を設けて勞働者を宿泊せしめ之を慰撫監督するにある。過去一ケ年間の事業成績に依れば受付一萬四千餘、不紹介數七千百餘、就職數七千五百餘に達し、前途大に囑望されて居る。主事は八濱德三郞氏、南區惠美須町二丁目にある。

◉大阪基督教青年會

同會の事業たる職業紹介部九月中の成績を擧ぐれば

雇入申込	二五
求職申込	二七五
求職受理	一〇五
紹介數	五四
就職決定數	三四

內譯

三六

店員	一二	事務員	九
小使給仕	七	外交員	一
職工	二	其他	三

なほ同會にては二月開催の宗教前進運動信徒大會後に於て社會事業につき殊に興味を有せるものに請ふて社會部委員たらん事を求め、毎月會合して山本理事委員長として社會事業につき之が取調べ研究實行の方法を協議することゝした。爾後數同の委員會を經て左の二新事業を計畫實行することゝした

(一)人事相談部

無資力者の法律顧問となり或は一身上の方針、精神上の煩悶等につき相談相手となりて之が解決に盡力する事

(二)ビッグブラザー

惡癖惡習を有する少年を善導感化せんが爲め有力なる紳士善良なる青年其の兄分となりて個人的に之を指導するの事業

◉愛國婦人會大阪支部

同會の支部は去明治卅四年中始めて西區江戸堀通二丁目弘法大師の境內に在る建物の一部を賃借して事業を開始したが事業の發展は遂に四十二年に至り現在の處へ(江戸堀北通正丁目)二階建の授產場を新築するに至つた。同會の目的は言ふ迄もなく軍人の遺家族に產業を授くるに在りて日露戰役中は勿論平和克復後は專ら此が遺家族耳收容せしかど今日にては普通の貧困婦なるも或事情の下に併せて產業を授け現在五十四名の未婚者及び軍人の未亡人を同所へ寄宿せしめて居る、授產は專らミシンに依りて洋服を裁縫するに在りて主として府廳の用を達し巡査の正服の如き旣に本年に入

りて二千五百着を納めたといふ。其外區役所并に赤十字社病院の看護婦用の服などの註文却々多けれど、此頃に至りては箇人の註文頓に增加し來り前記の正服以外に種々のものに指を染め居れるが、其成績は甚だ佳良である、就業婦の工料は最初の者へは日給十錢を給し、漸次技術の熟練するに隨て增給し、現に最高額四十五錢に及べるものもある。尤も之は單に晝間に於ける裁縫の工料に過ぎずして夜間は是非とも纒めに從事するが故に日給以外の別途の收入あり最高額六十錢位、平均四十錢を下らず、斯て此中より食費僅に一日十二錢を納めしむるに過ぎざれば他は皆貯金と爲る勘定にて始末のよき者に至ては既に五六百圓の貯金を爲したるものさへある、就業時間は此節午前八時半より午後五時まで、夜業(則ち纒め)は十時を限りとして就寢せしむ、猶朝の始業前一時間を以て算數讀書等の必須の科目丈けを授け、又月に二回宛精神講話を一同に聞かせて居る。會の經費は言ふ迄もなく會員の醵金に依つて維持されて居るが、現在に於ける會員數は市郡を通じ特別、通常を合せて約一萬五千人に達し居れど既に終身會員に入りたるものも殆んど其三分の一を占むれば正會員としては一萬そこ〳〵なるべく而して此等の會員より醵集されたる金員の四分を本部に納れ殘れる六分を支部の經費に宛て居り今日にては授產に依りて稍や獨立の基礎を固めたるもの丶如し猶收支に於て剩餘を生ずれば一年の終り則ち舊臘廿二三日頃には市內に於ける軍人遺家族の貧困者を取調べ貧困の程度に應じて三圓、六圓、九圓、十二圓の階級を附したる救助金を夫々惠與するが慣例である。

◉大阪保譽院

大阪府泉北郡三寶村字松屋にあり、南久太郎町の富豪生島永太郎氏の創立で、氏は曾て日露戰役に參加し具さに戰場の苦を閱し來つた丈け負傷兵に對する同情頗る深厚なる處より、獨力資財を擲ちて大阪癈兵院を設立し之が慰藉救濟に力を竭して居たが、昨年六月其筋の內意に基きて癈兵の文字を保譽に改稱し、同時に前記の處へ數千坪の敷地を提供して新たに二階建の家屋を東南の二方に八棟宛建築し之を收容所に宛て、而して中央に靜養室なる會堂を設け、其他院長室、工場などの建物がある。さてこゝに收容せる癈兵は獨身者もあり妻子を有するものもあり、現在の在院者軍人十三名ばかりなれど、之に附隨せる家族を合すれば三十餘名に上つて居る。院の主旨として、普通の家庭にあると少しも異なる處なからしめんがため凡てを規則の下に律せず、些の窮屈を感ぜしめず、極めて氣樂に暢氣に悠々以て天命を了らしむることに心を配つて居る。されどまた終日爲す事なくして暮さしむるも却つて無聊のため心身の上にも種々の弊害なきにしもあらざるを以て先年より三寶燒と稱する陶器の製作に從事せしめ其工賃に依りて自足自給の途を講ぜしむる事として居る。又家族の者には該製造品の色彩を附する職を授けて居る。

なほ院の經費は現在の會員百五十人ばかりの醵金と製作品の販賣利益とに依る事なれど、其大部分は生島氏の補助になるのは云ふまでもない。院長は陸軍中佐井島岩太郎氏、理事は生島太郎氏である。

◉盲人保護協會

木原九條警察署長が肝煎となり、部內の有力者岡島伊八氏田中藤三郎氏外數名協議の上部內の盲人七百餘名のために保護協會と云ふのを創立した、爾來九條通りの阪井接骨業者の二階を假事務所と定めて、進藤大阪盲啞學校教師講師となり、差當り三十餘名を集めて鍼灸按摩術の講義をして居る。若し夫れこの事業にして成功せんか獨盲人のみの幸福にとゞまらず

◉大阪養老院

明治三十五年十二月岩田民次郎氏が獨力資財を抛つて創立したものである。其間幾多の艱難を閱みし以て今日に至れるにて目下四十七名を收容して居る。中にも先年より院內に聖德太子の尊像を勸請したが、爾來靈現顯著の故を以て日々詣づる老若の男女引きもきらずとは、養老事業の外に異樣の現象と見るべきである、所は南區天王寺阿部野。

◉安德會

明治四十二年一月安田清兵衞氏の創立に成り、免囚并に貧民に對し智力及體力相應の職業を授け、自活の途を得せしむると共に其品性を高尙にするを以て目的として居る。而して之が維持は莫大小工場を設け其作業收益を以て當て、不足は會長の私財を以て補ふやうにして居る、府下西成郡鷺洲町大字浦江にある。

◉女子免囚保護（大阪佛敎和衷會）

去三月中當時堀川監獄の那須敎誨師が同監獄後援の下に女子免囚保護事業を經營せんとし、新たに監獄費にて二階建の家屋を建て差當り五名の女子を收容して居たが、過日の行政整理の結果同監獄は大阪監獄の分監となり同敎誨師も職を免ぜらるゝ事となつた。從つて該事業も一頓挫を來たしたが適ま大阪佛敎和衷會の手にて之を引繼ぎ附屬事業として經營することゝなつた。されど目下の收容者は僅に四名に過ぎず、

或は會社に雇はれ或は日雇に雇はれなどして若干の賃金を得、其内日に十錢宛を食費として同會に納れ、其他の經費萬端は同會の維持費より支辨する事となつて居る。

◉慈善團の巡回病院

大阪毎日新聞慈善團の巡回病院は明治四十四年十一月の創立に係り、大阪府立高等醫學校病院醫員諸氏篤志を以て其醫務を分擔され、第一次施療を木津願泉寺に於て開始せる以來二年各所に開院しつゝあるが二年間に於ける施療患者の延人員實に二萬人の多數に達し、社會の暗面に苦呻する多くの落伍者を慈仁の光明に照し勤勉の生産者となす事を得た。然れども巡回病院の施療は患者數に限りあり、收容に區域の定まるあり、而も病者は隨所に發生して止まず、依つて慈善團は今や略ぼ大阪全市及び接近町村に於ける巡回施療を終了したると、現に開院せる家屋の規模廣大なるを機とし特に日を限りて大阪全市及び接近町村に亙りて臨時大施療をなさんことを企圖し之を慈善團の醫務顧問たる醫學博士佐多愛彦氏に諮り博士の賛成を得たるのみならず大阪府立病院各科の醫長博士擧つて篤志を以て公務の餘暇において出張施療に從事さるゝことを承諾されたれば去る廿五、六の兩日を以て西成郡鷺洲村字大仁の東洋硝子會社跡に於て臨時大施療を施行した。

當日出場の重なる醫員は

▲内科(醫長楠本博士)▲外科(醫長木村博士)▲眼科(醫長宮下博士)▲小兒科(醫長高洲博士)▲耳鼻咽喉科(醫長加藤學士)▲産婦人科(醫長緒方博士)▲肺癆科(醫長佐多博士)▲皮膚科(醫長櫻根博士)▲精神神經科(醫長和田博士)等であつた。

されば今まで醫者らしき醫者に脈をとつて貰ひし事さへなき各種の患者は、博士の英姿を見て拜まんばかりに打喜んだ。

收容したる多數患者中には博士等の手術に依つて救はれたるもの少なからず、中には奇蹟ともいふべき程即座に輕快して醫長等を伏拜みて感謝の涙を湛えたものも數多あつたと云ふ。

◉赤十字社大阪支部病院

南區天王寺石ヶ辻赤十字社大阪支部病院は入院患者凡そ二百名、施療にて五十名内外、外來患者は天候により一樣ならざれど普通四百五十名より六百名の間である。貧患者にて七十名内外、この内施療患者は院規に依りて五十名を限り入院せしむる事となつて居るが内十名丈けは濟生會より委託の貧患者を取扱つて居る。この外戰時に於ける看護婦をも養成すべく各支部より委託されたる生徒一百八十二名のために授業を開いて居る。而して院の經費は素と社員の醵金を重なるものとしたが、今日ではその大部分は患者の藥價入院料にて償ふに至つたと云ふ。因に現在の社員は五萬千九百四十八人なれどこの内終身社員となりたるもの二萬七千六百六名あるにより差引正社員と見做すべきは二萬八千三百四十二名である。

▲石動支部の活動▼

富山縣石動町にある、本會石動支部は、發會以來日猶淺く會員の數も少けれど、熱心なる同志多く、今回富山、金澤、高岡等諸方面に向つて活動を開始し、近々大演説會を開かんと寄り〳〵協議中なるが、本部よりは多分益富理事出馬せらる可し。同地支部員の健鬪を祈る

日時 十二月十三日(土)午後五時半
場所 神田區美土代町 青年館會

藝妓問題大演説會
會員入場券

東京市神田區美土代町二丁目三番地
廓清會本部
電話本局四九四〇番

(注意)
此入場券は點線の處より切り取らる可し。
本券を持參せられざる時は、會員と雖も入場料を申受く。

いつも仁丹持つが

肝

心要目の

此秋に

ウント働く用意には

仁丹馬力の

仕掛が肝心

廣告

▲鄰清會▼
に深厚なる同情を有せらるゝ
▲諸病院▼

醫學博士 湯川玄洋
胃腸病院
大阪今橋三丁目
電本局九三三番

院長 醫學博士 緒方正清
大阪今橋 緒方婦人科病院
電話本局 一九八四 一九八五
●產婆生徒 本科ハ毎年九月 別科ハ隨時入學

耳鼻咽喉科專門
堀内病院
診察 午前八時ヨリ十二時マデ
院長 ドクトル 堀内謙内
次長 メヂチーネ 緒方四郎
大阪今橋三丁目 電話本局一九六〇

緒方病院
歯科 眼科 產科 兒科 外科 内科
耳鼻科 咽喉科 婦人科 皮膚科 尿機科
大阪新町

齒科專門
院長診察 正午迄
西村輔三
ドクトル 西村好穗
大阪東區今橋御靈筋西入 電本局八八九

神經科
院長 醫學士 大西鍛
腦病脊髓病神經病專門
診療 午前
大西醫院
大阪市東區高麗橋東詰南入東側

外科、内科
大阪道修町 高安病院
外科内科
院長 醫學博士 高安道成
科長 醫學博士 高安六郎

内科外科
院長 ドクトル ヘンリー、ラニング
副院長 ドクトル ジョージ、ラニング
診察午前 入院隨時
聖バルナバ病院
大阪市西區川口町はたてくら橋
電話西二〇八七

院長 ドクトル 服部哲
服部胃腸病院
大阪東區博勞町
電話南一八四五

醫學博士 坪井速水
醫學士 内田謙一郎
坪井内科院
東區豐後町(博物場北)
電東三〇八二番

石神病院
院長 石神亨
本院 南區天王寺逢阪
分院 泉州濱寺

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori. Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

Dr. K. TAKATA.

Within a few minutes from the Chigasaki Railway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone : Chigasaki No. 2

▲入院は診斷後隨時需に應ず

松田、林、峰岡三副長は目下當院に在勤

電本 八八八番(病院用) 八九八番(自宅用)

東洋內科醫院

東京市神田區駿河臺鈴木町二番地、御茶水橋附近

院長 醫學士 高田畊安

神奈川縣高座郡茅ヶ崎町柏海濱、停車場より半里

電チガサキ 二番

南湖院

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

▲院長渡歐中の處先般歸朝す

修容は婦德の第一步

端正の精神は端正の容儀に宿る

常にクラブ洗粉を用ゐて氣高き素顔の美を增されよ

朝夕クラブ白粉を用ゐて床しき薄化粧を整へられよ

毎朝クラブ齒磨を用ゐて口齒を淨め精神を爽かにせられよ

斯くして信仰深き御身の品位と健康とを保ち給ふべし